

能力開発 セミナーガイド

あなたの技能を
ステップアップ!



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部
京都職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター京都)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部
京都職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ京都)



INDEX

能力開発セミナー（在職者訓練コース）とは……………	1
セミナー実施時間	
Webによるセミナー最新情報のご案内	
どうやってセミナーを申し込めばいいの？	
お申込み方法と受講のご案内……………	2
わが社の人材育成を図りたい！ 計画の相談に乗ってほしい	
掲載されている以外のオーダーセミナーも実施できます ……	3
セミナー全コースの実施時期を一目で確認したい	
技術分野別コース一覧	
(1) 機械技術分野コース一覧 ……	4
(2) 電気・電子技術分野コース一覧 ……	8
【ポリテクセンター京都編】	
能力開発セミナー受講マップ……………	10
コースごとの具体的な内容を知りたい	
能力開発セミナーコース内容……………	12
【ポリテクカレッジ京都編】	
能力開発セミナー受講マップ……………	40
コースごとの具体的な内容を知りたい	
能力開発セミナーコース内容……………	41
京都以外の施設に申し込みいただくコース一覧……………	54
よくあるご質問と回答……………	56
お申し込みはこちらから	
受講申込書……………	57
お問い合わせ・お申込先・交通機関のご案内……………	裏表紙

- SolidWorks、SolidWorks Simulation は、Dassault Systèmes SolidWorks Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- AutoCAD は、Autodesk, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、一般に各メーカーの登録商標または商標です。
- なお、本文中にはTM、®のマークは明記しておりません。

能力開発セミナー(在職者訓練コース)とは

主に中小企業の在職者の方を対象に、ものづくり分野（加工・組立・設計・施工等）における職業能力の開発および向上を図るための職業訓練コースです。

職業生活において、自らのキャリア形成またはスキルアップを図るために必要な技能・技術及びこれに関する知識を習得しようとする方々に対して、その人が今持っている技能・技術及び知識に応じた段階的かつ体系的な訓練を実施いたします。

なお、このコース設定につきましては、企業が実施する人材育成や教育訓練（職業訓練）を補うという観点から、皆様方のご意見、ご要望等を伺いながら策定いたします。

セミナー実施時間

セミナー実施時間は **9:15 ~ 16:00**（一部のコースを除く）
お昼休みは **12:15 ~ 13:00** です。

Webによるセミナー最新情報のご案内

ポリテクセンター京都及びポリテクカレッジ京都のホームページでは、能力開発セミナーの最新情報について掲載しています。是非ご利用ください。

追加コースのご案内や現在の応募状況はこちらから

ポリテクセンター京都

検索

<http://www3.jeed.or.jp/kyoto/poly/>



ポリテクカレッジ京都

検索

<http://www3.jeed.or.jp/kyoto/college/>



またセミナー受講に関するお問い合わせ、セミナーの内容に関する質問等については次のメールアドレスをご利用ください。



ポリテクセンター京都
kyoto-poly03@jeed.or.jp



ポリテクカレッジ京都
gakuen@cs.kyoto-pc.ac.jp

お申込み方法と受講のご案内

お申し込みは **FAX** にて受け付けます。(定員になり次第、受付を終了させていただきます。)

お 客 様

ポリテクセンター京都

ポリテクカレッジ京都

1 申込書を FAX で送付

申込書は P.57 です。またホームページからもダウンロードできます。



FAX

2 受講申込書の受付

申込書を受付後、定員内の場合は「申込受理通知書」を、キャンセル待ちの場合は「キャンセル待ち通知書」をお送りします。



郵送

3 受講申し込み結果の確認

キャンセル待ちの場合、繰り上げ受講が可能になった場合やセミナーの追加実施が決定した場合には、電話でご連絡いたします。



郵送

4 受講票と請求書の発行

セミナー開始日の概ね **4週間前**に、受講票と請求書及び郵便振替用紙をお送りします。



振込

5 受講料のお振込み

受講料は、能力開発セミナー開講日の **14日前**までに、お近くの郵便局にてお振込み願います。

6 受講受付の完了

注1 お申込みのキャンセルは能力開発セミナー開講日の **14日前**までに文書にてご連絡ください。それ以降のキャンセルにつきましては、**受講料を返金致しません**のでご了承ください。(ただし、当方の都合によりやむを得ず中止した場合につきましては、別途ご連絡の上、受講料を返金いたします。)

注2 コースの定員に対して5割未満の受講者の場合は、このコースの日程変更または中止する場合がありますのでご了承ください。

注3 個人でのお申し込みの場合、受講料のお振込み後に受講票を発行いたします。

受講者の変更

同一企業における受講者の変更は可能ですが、この場合は、出来るだけ早く文書 (FAX) にてご連絡ください。ただし、受講コースの変更及び実施日ごとの受講者の変更はできませんので、ご了承ください。

お申込み・お問い合わせはこちらまで

京都職業能力開発促進センター (ポリテクセンター京都) ☎ 617-0843 京都府長岡京市友岡 1-2-1
TEL 075-951-7398 (セミナー受付専用) FAX 075-951-7393
E-mail kyoto-poly03@jeed.or.jp

京都職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ京都) ☎ 624-0912 京都府舞鶴市上安 1922
TEL 0773-75-4341 (セミナー受付専用) FAX 0773-75-4378
E-mail gakuen@cs.kyoto-pc.ac.jp

掲載されている以外のオーダーセミナーも実施できます

京都職業能力開発促進センター（ポリテクセンター京都）及び京都職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ京都）では、主にものづくり分野（加工・組立・設計・施工等）における人材育成について、企業様あるいは事業主団体様が行う職業訓練をお手伝いしたいと考えています。

企業様あるいは事業主団体様が実施する研修には、能力開発セミナーガイドに記載する訓練コースのご利用をお勧めしておりますが、

「セミナーガイドに記載された以外の日程を希望したい。」

「セミナーガイドのコース内容をもう少し我が社に合わせた内容にできないか。」

「専門分野の従業員研修を実施したい。」

などのお悩みがあれば、お気軽にご相談ください。

例えばこんな場合・・・

精密・金型加工を行っているA社では、時期によって各ラインの作業量に波があるため、従業員の業務量が偏る状態となっていました。

A社では、従業員の多能工化をめざして、従業員に他のラインの作業を勉強してもらおうと考え、10名の従業員の方々にフライス・NC・旋盤加工を短期間で勉強してもらうため、ポリテクセンターに相談にられました。

ポリテクセンター京都からは、次のコース（オーダーセミナー）を提案させていただきました、訓練を実施いたしました。

- | | |
|------------------------|-------------|
| ● 実践フライス盤加工技術（3日間） | おひとり12,500円 |
| ● NC技術者のための切削加工技術（3日間） | おひとり12,800円 |
| ● 実践旋盤加工技術（3日間） | おひとり13,500円 |

※（コース名・金額等は参考例です）

そして・・・

受講された方からは、「実習があるととても楽しい」「あまり触れることのない機械の特長を知ることができた」「実習があるのでより勉強になる」「全工程での加工のやり方がわかった」などご好評をいただきました。

A社からも、「旋盤の難しさや奥深さを知ってもらい、今回の研修は大成功であった。」と、絶賛していただきました。

今後も当センターのセミナーを活用したいとお言葉も頂戴しております。

- (1) セミナーの内容については、基本的には能力開発セミナーガイドの訓練コースの内容と致しますが、一定の技能・技術レベル以上のものであること、計画時間数は12時間以上であること等の制約を満たせば、セミナーガイド以外の訓練コースも実施可能です。
- (2) 1コースあたりの時間数は12時間以上とさせて頂いております。また、1日当たりの時間数は、6時間（9:15～16:00）を基本としていますが、ご相談のうえ設定できます。
- (3) 定員は10名以上とさせて頂きますが、10名未満でもご相談させて頂きます。また、複数企業の共同でのオーダーもお受け致します。
- (4) 受講料はP.12からの各コース内容を参考にしてください。

機械技術分野コース一覧

会場	分類番号	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
ポリテクセンター (長岡京市)	A001	機械設計製図（公差・部品図編）	12	4	24	10	16,500
	A002	機械設計製図（機械要素編）	12	3	18	10	13,500
	A003	機械設計技術者のための力学	12	3	18	10	13,000
	A004	機械加工を考慮した設計技術（設計基準と加工基準）	13	3	18	12	30,000
	A005	実践機械設計製図（幾何公差の解釈と活用技術）	13	2	12	12	21,500
	A006	実践機械設計技術（2次元設計）【AutoCAD】	13	3	18	10	13,500
	A007	設計ツールを活用した製品設計技術（部品設計編）【SolidWorks】	14	4	24	10	21,000
	A008	設計ツールを活用した製品設計技術（意匠サーフェス編）【SolidWorks】	14	2	12	10	13,000
	A009	設計ツールを活用した製品設計技術（構想・組立設計編）【SolidWorks】	14	3	18	10	17,000
	A010	3次元ツールを活用した板金部品の設計技術	15	3	18	10	17,000
	A011	設計者のための機械構造解析技術【SolidWorks Simulation】	15	3	18	10	22,000
	A012	機械技術者のための金属材料の理論と実際	15	2	12	10	12,000
	A013	機械設計技術者のための溶接技術	16	2	12	10	12,000
	A014	半自動アーク溶接実践技術（各種姿勢編）	16	2(4)	12	8	16,000
	A015	TIG溶接技能クリニック	16	2(4)	12	8	16,000
	A016	TIG溶接実践技術（アルミニウム合金板材編）	17	4	12	8	16,000
	A017	スポット溶接施工技術 NEW	17	4	12	8	16,000
	A018	板金加工におけるTIG溶接と仕上げ実践技術	17	4	12	8	16,000
	A019	旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）	18	5	30	10	21,500
	A020	旋盤によるねじ切り加工技術	18	3	18	10	15,000
	A021	旋盤精密加工技術（総合課題編）	18	4	24	10	17,500
	A022	旋盤加工技術（技能トライアル）	19	3	18	10	15,000
	A023	フライス盤精密加工技術（溝加工編）	19	4	24	8	20,000
	A024	フライス盤の実務（応用編）	19	4	24	8	20,000
	A025	フライス盤加工技術（技能トライアル）	20	3	18	8	17,000
	A026	鉄鋼材料の材料特性と活用技術 NEW	20	2	12	12	11,000
	A027	NC旋盤技術（プログラミング編）	20	4	24	10	17,000
	A028	NC旋盤実践技術・加工編	21	4	24	10	17,000
	A029	マシニングセンタ実践技術（プログラミング編）	21	4	24	10	17,000
	A030	機械加工技術（マシニングセンタ加工編）	21	3	18	10	14,000
	A031	機械加工部品の測定・検査技術	22	3	18	10	13,000
	A032	機械加工部品の測定・検査技術（技能トライアル）	22	2	12	10	14,000
	A033	製造技術者のための油圧実践技術	22	3	18	8	16,000
	A034	油圧装置メンテナンスとトラブルシューティング RENEW	23	3	21	8	17,500
	A035	空気圧機器の保全	23	3	18	10	15,000
	A036	空気圧実践技術 NEW	23	3	18	10	15,000
	A037	生産現場の機械保全実務	24	2	14	9	12,500
	A038	機械保全実践技術（振動・潤滑）	24	2	14	9	12,500
	A039	機械保全実践技術（伝動装置・分解組立調整編）	24	3	21	9	16,500
	A040	機械保全実践技術（設備点検編） NEW	25	3	18	9	14,000



会場はポリテクセンターです



会場はポリテクカレッジです

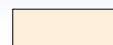
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	10~13		5~8	30~9/2			8~11				
	25~27			3~5							
		8~10			14~16			14~16			
				31~9/2							
								14, 15			
	25~27			24~26	26~28			14~16			
25~28		7~10					8~11		24~27		
										1, 2	
		21~23					16~18				
									25~27		
			20~22				29~12/1				
					29, 30						
					1, 2						
	19, 20		13, 14			31, 11/1,2,4					2, 3
	9,10 11,12		4,5,7,8						11,12	13, 14, 16, 17	
					12,13 15,16						
							21,22 24,25				
						3, 4, 6, 7					
	9~13	6~10				24~28		5~9			
		15~17									
							8~11				
		25,7/2,9									
19~22						4~7					
		7~10									
		25, 7/2,9									
		22,23									
	31~6/3				6~9						
		14~17			13~16						
			12~15						10~13		
			27~29								
		28~30		23~25							
								3, 10			
	24~26				13~15						
						4~6					
							8~10				
					27~29						
		1, 2						7, 8			
			6, 7								
		7~9									
						18~20					

機械技術分野コース一覧

会場	分類番号	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
ポリテクセンター (長岡京市)	A041	実践でわかる熱処理実践技術	25	3	18	10	14,000
	A042	金属材料の選び方とその熱処理方法	25	3	18	10	15,000
	A043	機械組立仕上げのテクニック	26	4	24	10	16,000
	A044	在庫管理精度 99.99% を目指した在庫削減の進め方	26	2	12	10	11,000
	A045	製造現場における工程管理技法と改善（実践的活用例の習得）	26	2	12	10	11,000
	A046	生産現場で使う品質管理技法 (QC 7つ道具の使いこなしと部門毎の品質管理業務の習得)	27	2	12	10	11,000
	A047	生産現場を強化する人材育成（5Sの活用）	27	2	12	10	11,000
	A048	生産現場で活用するリーダーシップ手法	27	2	12	10	10,000
	A049	製造現場における問題発見・改善手法	28	2	12	10	10,000
	A050	技術者のための現場で使える原価管理	28	2	12	10	10,000
	A051	生産現場のための「実践作業標準書」	28	2	12	10	10,000
	A052	統計的手法を活用した品質管理	29	2	12	10	10,000
ポリテクカレッジ (舞鶴市)	B101	実践機械製図	41	3	18	10	13,000
	B102	機械設計製図技術 NEW	41	5	30	10	20,500
	B103	機械設計技術者のための力学 NEW	41	3	18	10	13,000
	B104	実践機械設計技術（2次元設計）	42	3	18	10	13,500
	B105	設計ツールによるモデリング技術	42	3	18	10	14,000
	B106	切削加工の理論と実際 NEW	42	3	18	10	16,500
	B107	旋盤加工技術	43	5	30	10	22,000
	B108	旋盤の高精度加工技術 NEW	43	4	24	10	19,500
	B109	フライス盤実践技術（高精度加工編） NEW	43	4	24	5	29,500
	B110	ドリル及びバイト研削の実践技術 NEW	44	3	18	5	24,500
	B111	機械保全実践技術（事例・解決編） NEW	44	3	18	10	15,500
	B112	マシニングセンタ実務加工作業 NEW	44	5	30	10	24,000
	B113	マシニングセンタ実践技術（高速加工編）	45	3	18	10	17,500
	B114	統合型CAD / CAMによるマシニングセンタ加工技術	45	3	18	10	15,500
	B115	NC旋盤実践技術	45	4	24	10	21,000
	B116	マグ溶接技能クリニック NEW	46	2	12	5	27,000
	B117	TIG溶接実践技術（アルミニウム合金板材編） NEW	46	2	12	5	27,000
	B118	ヒューマンエラー防止実践手法 NEW	46	2	12	10	11,500
	B119	機械加工部品の測定・検査技術	47	3	18	10	13,500
	B120	製造現場に活かす「ひずみゲージと応力測定技術」 NEW	47	2	12	10	12,000
	B121	実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善	47	2	12	10	6,500
	B122	測定の高精度化と統計的手法による品質管理	48	3	18	10	14,000
	B123	生産現場で使う品質管理技法	48	2	12	10	6,500
	B124	製造業に活かす品質管理技法	48	3	18	10	10,000



会場はポリテクセンターです



会場はポリテクカレッジです

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			20~22			25~27					
							30~12/2				
	24~27										
		16,17									
					15,16						
		9,10				13,14					
	12,13				8,9						
	17,18					27,28					
			28,29								
			14,15								
						13,14					
									19,20		
18~20											
						3~7					
			13~15								
20~22											
									17~19		
25~27											
						24~28					
				25~28							
						5~8					
	16~18										
				31~9/2							
				1~5							
				24~26							
								7~9			
		21~24									
							15,16				
							17,18				
						22,23					
				24,31, 9/7							
						17,18					
							2,12/7				
							14~16				
				3,5							
						1,11/5 12/3					

電気・電子技術分野コース一覧

会場	分類番号	コース名	頁	日数	訓練時間	定員	受講料
ポリテクセンター (長岡京市)	A 201	アナログ回路の設計・評価技術（トランジスタ編）	30	2	12	10	15,000
	A 202	アナログ回路の設計・評価技術（オペアンプ編）	30	2	12	10	15,000
	A 203	センサ回路の実践技術	30	2	12	10	15,000
	A 204	ディジタル回路設計（ロジック IC 編）	31	2	12	10	12,000
	A 205	V H D L による L S I （ F P G A ） 開発技術	31	3	18	10	12,000
	A 206	鉛フリーはんだ付け技術	31	2	12	10	20,000
	A 207	プリント基板設計技術	32	2	12	10	14,000
	B 303	組込みのためのプログラム開発技術（C 言語関数編）	49	2	12	10	15,000
	B 304	組込みのためのプログラム開発技術（C 言語ポインタ編）	50	2	12	10	15,000
	A 208	機械制御のためのマイコン実践技術（H8 マイコン編）	32	3	18	10	20,000
	A 209	マイコン制御システム開発技術（PIC マイコン 16F877 編）	32	3	18	10	18,000
	B 305	組込みシステム開発（プログラミング実践編）	50	3	18	10	16,000
	B 307	μ ITRON による組込み制御実践技術	51	3	18	10	16,000
	A 210	電動機制御のための有接点シーケンス制御	33	4	24	10	15,000
	A 211	制御盤製作のための実践的技術（配線設計編）	33	3	18	5	20,000
	A 212	PLC による自動化制御技術（三菱編）	33	3	18	10	15,000
	A 213	数値処理による PLC 制御技術（三菱編）	34	3	18	10	15,000
	A 214	電気系保全実践技術	34	3	18	10	15,100
	A 215	PLC 制御による位置決め制御技術	34	2	12	10	11,000
	A 216	PLC 制御における実践的インバータ制御技術	35	2	12	10	11,000
	A 217	電気・機械技術者のための計測・制御実践技術（プログラム開発編）	35	3	18	10	18,000
	A 218	PLC データ管理	35	2	12	5	14,000
	A 219	空気圧機器の選定技術	36	2	12	10	9,500
	A 220	現場のための実践的電気計測技術	36	2	12	10	10,000
	A 221	低圧配電機器選定と保護協調	36	2	12	10	10,600
	A 222	自家用電気工作物の高圧機器技術	37	2	12	10	10,000
	A 223	保護継電器の評価と保護協調	37	2	12	10	10,600
	A 224	光ケーブル端末処理技術	37	2	12	12	12,000
	A 225	光 LAN 構築施工・評価技術	38	3	18	12	15,000
ポリテクカレッジ (舞鶴市)	B 301	アナログ回路の設計・評価技術（トランジスタ編）	49	2	12	10	15,000
	B 302	アナログ回路の設計・評価技術（オペアンプ編）	49	2	12	10	15,000
	B 306	組込みシステム開発におけるプログラム開発技術	50	2	12	10	6,500
	B 308	有接点シーケンス制御による電動機制御の実務	51	3	18	10	11,000
	B 309	数値処理による P L C 制御技術	51	3	18	10	10,000
	B 310	タッチパネルを活用した F A ライン管理	52	3	18	10	7,000
	B 311	電気系保全実践技術	52	3	18	10	15,100
	B 312	無線 LAN を用いたデータ伝送と評価（無線 LAN 構築・評価技術）	52	2	12	10	12,000
	B 313	LAN 構築施工・評価技術	53	2	12	10	7,500

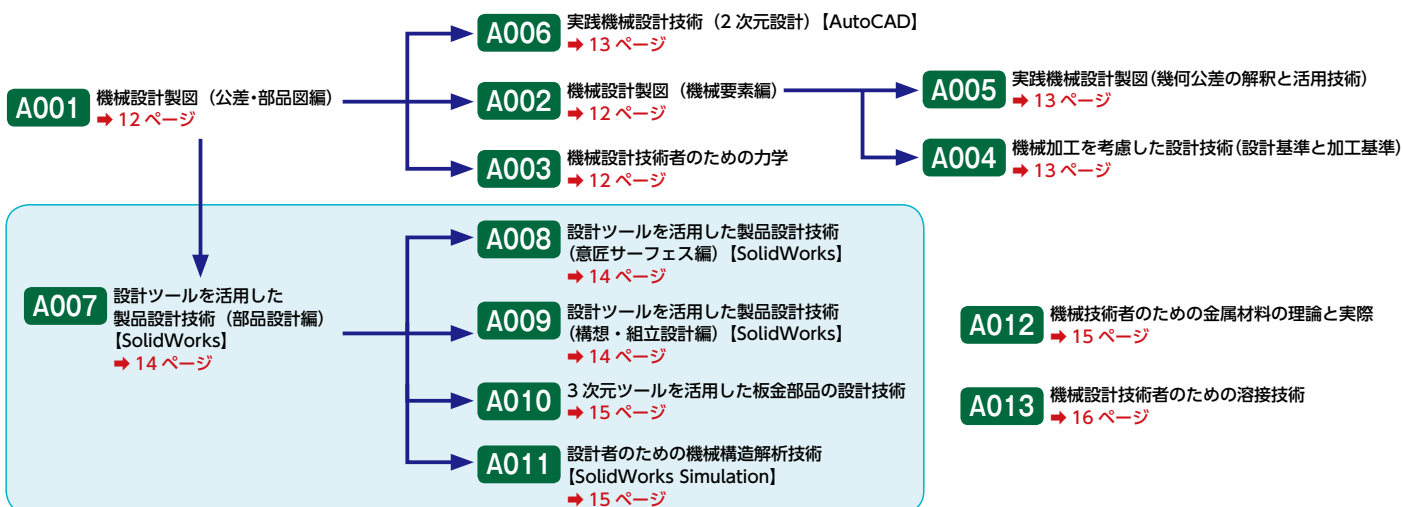
会場はポリテクセンターです

 会場はポリテクカレッジです

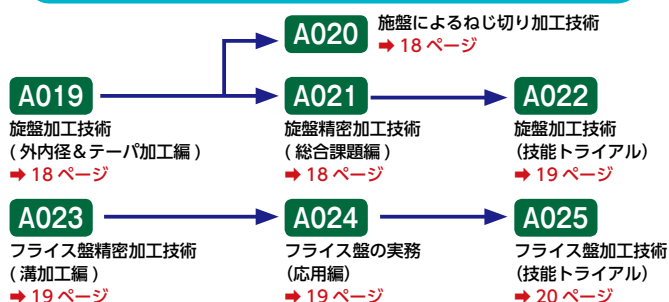
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	11,12				14,15						
	18,19				27,28						
							17,18				
		15,16									
			5~7								
										14,15	
									11,12		
	10,11		19,20								
	24,25			2,3							
			12~14				28~30				
19~21											
				24~26		19~21					
						26~28					
12~15				30~9/2				13~16		7~10	
	17~19					25~27				28~3/2	
26~28					27~29		8~10			21~23	
		14~16							17~19		
						4~6					
							15,16				
					6,7						
							29~12/1				
								7,8			
	19,20										
		9,10				6,7					16,17
			25,26								
	26,27					15,16					
							5,6				
	20,21					22,23					
		28~30								8~10	
											15,16
											22,23
				25,26							
	10~12										
		7~9									
			5~7								
								6~8			
		18,19									
			23,24								

ポリテクセンター京都編 能力開発セミナー受講マップ

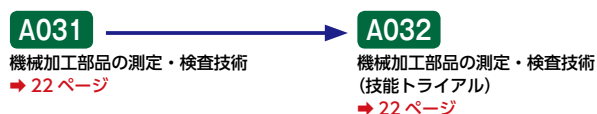
機械設計／製図技術



機械加工技術



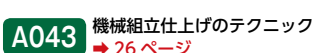
測定技術



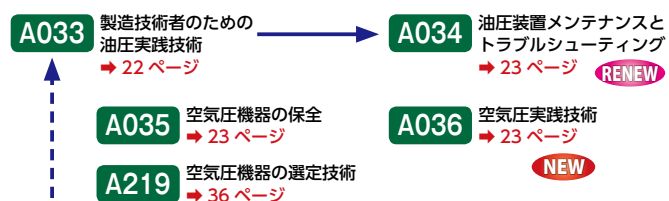
材料利用技術



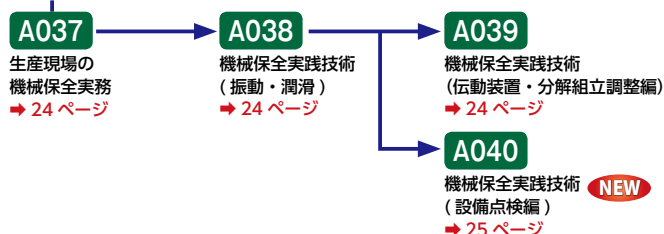
手仕上げ



油空圧技術



機械保全技術



管理技術

現場改善力を高めたい



NC 加工技術

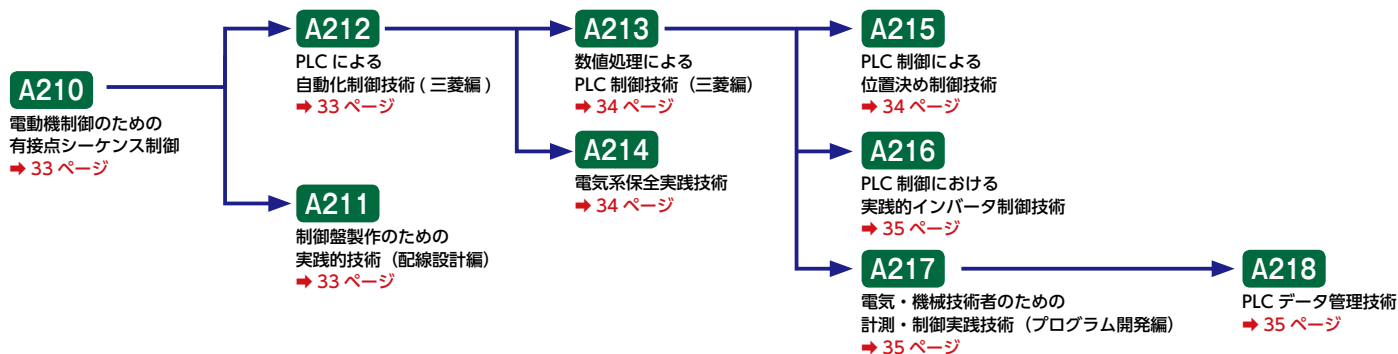
- A027 NC旋盤技術
(プログラミング編) → 20 ページ
- A028 NC旋盤実践技術・加工編
→ 21 ページ
- A029 マシニングセンタ実践技術
(プログラミング編) → 21 ページ
- A030 機械加工技術
(マシニングセンタ加工編)
→ 21 ページ

溶接加工技術

- A014 半自動アーク溶接実践技術
(各種姿勢編) → 16 ページ
- A015 TIG溶接技能クリニック
→ 16 ページ
- A016 TIG溶接実践技術
(アルミニウム合金板材編)
→ 17 ページ
- A017 スポット溶接施工技術 **NEW**
→ 17 ページ
- A018 板金加工における
TIG溶接と仕上げ実践技術
→ 17 ページ

シーケンス制御技術

シーケンス制御技術を高めたい



電気設備技術

電気設備技術者として知っておくべき知識を高めたい

- A220 現場のための実践的電気計測技術
→ 36 ページ
- A221 低圧配電機器選定と保護協調
→ 36 ページ
- A222 自家用電気工作物の高圧機器技術
→ 37 ページ
- A223 保護継電器の評価と保護協調
→ 37 ページ

通信設備技術

光通信設備技術者として知っておくべき知識を高めたい

- A224 光ケーブル端末処理技術
→ 37 ページ
- A225 光LAN構築施工・評価技術
→ 38 ページ

回路設計技術／マイコン制御技術

アナログ素子の理解を深めたい

アナログ素子の設計手法について理解を深めたい

- A201 アナログ回路の設計・評価技術
(トランジスタ編) → 30 ページ
- A202 アナログ回路の設計・評価技術
(オペアンプ編) → 30 ページ

アナログ素子の応用回路設計技術を向上させたい

- A203 センサ回路の実践技術
→ 30 ページ

デジタル素子の設計手法について理解を深めたい

- A204 デジタル回路設計
(ロジックIC編) → 31 ページ
- A205 VHDLによる
LSI(FPGA)開発技術
→ 31 ページ

電子部品の実装技術を向上させたい

- A206 鉛フリーはんだ付け技術
→ 31 ページ
- A207 プリント基板設計技術
→ 32 ページ

マイコン制御システムの理解を深めたい

マイコンの開発言語の知識を高めたい

- B303 組込みのためのプログラム
開発技術(C言語関数編)
→ 49 ページ
- B304 組込みのためのプログラム
開発技術(C言語ポインタ編)
→ 50 ページ

マイコンの制御手法について理解を深めたい

- A208 機械制御のためのマイコン
実践技術(H8マイコン編)
→ 32 ページ
- A209 マイコン制御システム開発技術
(PICマイコン16F877編)
→ 32 ページ

組込みソフトウェアの理解を深めたい

- B305 組込みシステム開発
(プログラミング実践編)
→ 50 ページ
- B307 μITRONによる
組込み制御実践技術
→ 51 ページ

能力開発セミナーコース内容

A001	機械設計製図（公差・部品図編）				4日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0011	5/10～13	訓練内容	機械設計者の設計意図を正しく図面に反映させるために必要となる機械製図規格（JISB0001）とその関連規格（寸法公差、幾何公差、表面性状）の内容を解説します。（CADは使いません） 1. 製図の概要 2. JISに準じた部品図（寸法記入、幾何公差、表面性状） 3. 加工を考慮した寸法記入 4. 課題演習		
A0012	7/5～8				
A0013	8/30～9/2	使用機器	製図用具一式		
		持参品	筆記用具		
A0014	11/8～11	受講料	16,500円	定員	10名
		備考			

A002	機械設計製図（機械要素編）				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0021	5/25～27	訓練内容	機械要素製図に関する総合的かつ実践的な知識を、実際の機械装置の分解作業やスケッチ作業を通じて習得します。 *「機械設計技術者のための総合力学」と一部重複している部分があります。 1. 機械製図上の注意事項 2. 機械要素設計製図（ねじ、軸、軸継手、軸受、歯車、Vプーリ、Vベルト） 3. 総合課題実習 対象者「A001機械設計製図（公差・部品図編）」を受講された方もしくは、機械製図の基礎知識を有する方		
A0022	8/3～5	使用機器	製図用具一式		
		持参品	筆記用具、作業服、関数電卓		
		受講料	13,500円	定員	10名
		備考			

A003	機械設計技術者のための力学				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0031	6/8～10	訓練内容	機械の力学や材料力学、また機械要素設計（ねじ・軸・軸受・歯車）など、詳細設計に必要な力学全般を習得することにより設計力向上を目指します。また、単に計算式を扱うのではなくその意味を理解することにより一層知識を深め問題解決力を養います。 1. 力学について 2. 機械の力学 3. 材料力学（材料の静的強度設計） 4. 機械要素設計 (1) ねじ (2) 軸 (3) 軸受 (4) 歯車 対象者 これから設計に携わる方、または最近設計業務に携わっている方で、改めて力学等を復習されたい方		
A0032	9/14～16				
		使用機器			
A0033	12/14～16	持参品	筆記用具、関数電卓		
		受講料	13,000円	定員	10名
		備考			

A004 機械加工を考慮した設計技術（設計基準と加工基準）		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0041	8/31~9/2	訓練内容	設計品質の向上及び製品開発の効率化をめざして、機械加工実習（フライス盤）による部品の加工性や組立性における問題点を知り、設計基準（寸法基準）の取り方や寸法公差の設定及び加工を加味した設計技術を習得します。 1. 設計と加工 2. 設計者に必要な加工の知識 3. 設計時に考慮すべき加工工程の検討 4. 実践課題
		使用機器	汎用立形フライス盤、表面粗さ測定器
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、関数電卓
		受講料	30,000 円 定員 12 名
		備考	講師：株式会社ラブノーツ 山田 学（「図面ってどない描くねん！」等の著者）、ポリテクセンター京都 機械系指導員 ※当コースは、ポリテクセンター関西でも実施しております。詳しくは54ページをご参照下さい。

A005 実践機械設計製図（幾何公差の解釈と活用技術）		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0051	12/14,15	訓練内容	機械部品製造の設計製図及び測定作業の効率化をめざして、最新 JIS 規格をもとに幾何公差の正しい解釈と活用方法について習得します。 1. 機械加工におけるバラツキと測定の不正確さ 2. データムの使用方法 3. 幾何特性と幾何公差 4. 14種の幾何公差の解釈と活用例 5. 測定機による主要な幾何公差の確認
		使用機器	
		持参品	筆記用具
		受講料	21,500 円 定員 12 名
		備考	講師：株式会社ラブノーツ 山田 学（「図面ってどない描くねん！」等の著者）、ポリテクセンター京都 機械系指導員 ※当コースは、ポリテクカレッジ滋賀でも実施しております。詳しくは55ページをご参照下さい。

A006 実践機械設計技術（2次元設計）【AutoCAD】		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0061	5/25~27	訓練内容	機械設計における2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、製品企画から具体的加工の指示を出すための図面（設計製図、工程図等）の作図方法、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用法を習得します。 1. 構想と基本設計（図面展開、テンプレート設定） 2. 設計製図効率を向上させるために事前に準備しておくべき事項 （1）データ管理機能（テンプレート、ブロックなど） （2）基本構想段階でのCADの使い方（作図機能・編集機能・応用作図機能） 3. 実習課題
A0062	8/24~26		
A0063	9/26~28		
A0064	12/14~16	使用機器	AutoCAD2014
		持参品	筆記用具
		受講料	13,500 円 定員 10 名
		備考	

A007 設計ツールを活用した製品設計技術（部品設計編）【SolidWorks】		4 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0071	4/25~28	訓練内容	製品設計業務における効率的な設計作業と設計の高付加価値化と生産性の向上をめざして、「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた活用方法、組立設計と図面の活用及び設計検討項目の検証方法を習得します。 1. 設計とは 2. モデリング3カ条 3. 設計変更を考慮したモデリング 4. アセンブリ 5. 図面作成
A0072	6/7~10		
A0073	11/8~11	使用機器	SolidWorks2014 *他の施設では、バージョンが異なる場合があります。
		持参品	筆記用具
A0074	1/24~27	受講料	21,000 円 定員 10 名
		備考	※当コースは、ポリテクセンター滋賀、ポリテクセンター関西、ポリテクセンター兵庫、ポリテクセンター加古川、ポリテクセンター奈良、ポリテクセンター和歌山でも実施しております。詳しくは 54,55 ページをご参照下さい。

A008 設計ツールを活用した製品設計技術（意匠サーフェス編）【SolidWorks】		2 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0081	2/1,2	訓練内容	製品の意匠性や機能を実現する自由曲面と自由曲線を作成する上で重要な「滑らかさ」・「連続性」・「曲線・曲面の評価方法」について理解し、生産現場に有効なサーフェスモデリング技術を習得します。 1. 自由曲面とは 2. サーフェスモデリング 3. 自由曲面を利用したモデリング
		使用機器	SolidWorks2014 *他の施設では、バージョンが異なる場合があります。
		持参品	筆記用具
		受講料	13,000 円 定員 10 名
		備考	※当コースは、ポリテクセンター関西でも実施しております。詳しくは 54 ページをご参照下さい。

A009 設計ツールを活用した製品設計技術（構想・組立設計編）【SolidWorks】		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0091	6/21~23	訓練内容	設計ツールの「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた活用方法及び「機能展開＝アセンブリ」と捉えた構想設計段階における活用方法などを習得します。 1. 設計とは 2. アセンブリを利用した製品設計 3. 設計検証実習 4. 構想設計実習（アイデア、構想図、樹形図等） 5. 設計変更実習 対象者 「A007 設計ツールを活用した製品設計技術（部品設計編）【SolidWorks】」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
A0092	11/16~18	使用機器	SolidWorks2014 *他の施設では、バージョンが異なる場合があります。
		持参品	筆記用具
		受講料	17,000 円 定員 10 名
		備考	※当コースは、ポリテクセンター滋賀、ポリテクセンター関西、ポリテクセンター兵庫、ポリテクセンター加古川、ポリテクセンター奈良でも実施しております。詳しくは 54,55 ページをご参照下さい。

A010 3次元ツールを活用した板金部品の設計技術		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0101	1/25~27	訓練内容	板金製品を取り巻く環境や各種製造方法等の知識、3次元ツールによる加工性の検討等の活用法を習得します。 1. 板金部品のモデリング手法 2. プレスブレーキを用いた板金部品の製作実習（体験） 3. 加工ノウハウを考慮した板金部品モデルの作成 対象者 「A007 設計ツールを活用した製品設計技術（部品設計編）【SolidWorks】」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使用機器	3次元CADシステム（SolidWorks2014）、 小型板金加工機（プレスブレーキ、セットプレス、シャーリング）
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業帽
		受講料	17,000円 定員 10名
		備考	

A011 設計者のための機械構造解析技術【SolidWorks Simulation】		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0111	7/20~22	訓練内容	構造解析（強度剛性解析）の理論及び解析結果の評価方法を理解し、設計プロセスの中でCAEを「設計ツール」として有効に活用するためのノウハウや技術を習得します。 1. 設計とCAEの関わり 2. 解析方法 3. 解析結果の評価と注意点 4. 力学計算による理論値との比較 5. 応力集中部の解析 6. モデルの簡略化 7. 報告書の作成 8. アダプティブ法 9. アセンブリの解析 10. 座屈解析 対象者 SolidWorksによる基本的なモデリングができる方。また、材料力学の基礎知識をお持ちであればより効果的です。
A0112	11/29~12/1	使用機器	SolidWorks2014、SolidWorksSimulation
		持参品	筆記用具、関数電卓
		受講料	22,000円 定員 10名
		備考	※当コースは、ポリテクカレッジ滋賀でも実施しております。詳しくは55ページをご参照下さい。

A012 機械技術者のための金属材料の理論と実際		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0121	9/29,30	訓練内容	機械設計における金属部品に発生するトラブルの改善をめざして、金属材料の選定及び金属部品に発生するトラブル解析に必要な金属材料に関する知識を習得する。 1. 合金理論 2. 展伸材と鋳造材 3. 材料強化理論 4. 金属材料検査の適用法
		使用機器	引張試験機、衝撃試験機
		持参品	筆記用具
		受講料	12,000円 定員 10名
		備考	

A013 機械設計技術者のための溶接技術		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0131	9/1,2	訓練内容	機械設計技術者を対象として、適正な溶接指示ができるように、溶接施工実習を通じて溶接手法を学ぶとともに、溶接部の力学設計に必要な関連知識を習得する。 1. 溶接法及び溶接機器 2. 金属材料の溶接性ならびに溶接部の特徴 3. 溶接構造の力学と設計 4. 溶接施工実習
		使用機器	
		持参品	筆記用具、関数電卓
		受講料	12,000円 定員 10名
		備考	

A014 半自動アーク溶接実践技術（各種姿勢編）		2(4)日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0141	5/19,20	訓練内容	半自動アーク溶接の"カンドコロ"を学科と実技を通して学んでいきます。 1. 半自動アーク溶接概要 2. 機器取扱いとメンテナンス 3. 溶接ワイヤの種類と使い分け 4. シールドガスの種類と特徴 5. 各種継手における溶接施工法（溶接実習） ■ 夜間コースは18:00～21:00までの4日間行います。
A0142	7/13,14		
A0143	10/31,11/1,2,4 (夜間コース) 18:00～21:00		
A0144	3/2,3	使用機器	炭酸ガスアーク溶接機
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、皮手袋
		受講料	16,000円 定員 8名
		備考	

A015 TIG溶接技能クリニック		2(4)日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0151	5/9,10,11,12 (夜間コース) 18:00～21:00	訓練内容	TIGステンレス鋼溶接の"カンドコロ"を学科と実技を通して学んでいきます。 1. TIG溶接概要 2. 機器取扱いとメンテナンス 3. ステンレス鋼の種類と溶接性 4. シールドガスの種類と特徴 5. 電極の種類と先端形状 6. 各種継手における溶接施工法（溶接実習） ■ 夜間コースは18:00～21:00までの4日間行います。
A0152	7/4,5,7,8 (夜間コース) 18:00～21:00		
A0153	1/11,12		
A0154	2/13,14,16,17 (夜間コース) 18:00～21:00	使用機器	TIG溶接装置一式、安全保護具一式、器工具一式
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、皮手袋
		受講料	16,000円 定員 8名
		備考	

A016	TIG溶接実践技術（アルミニウム合金板材編）		4日間
コース番号	実施日	コース内容	
A0161	9/12,13,15,16 (夜間コース) 18:00~21:00	訓練内容	TIGアルミニウム合金溶接の"カンドコロ"を学科と実技を通して学んでいきます。 1. TIG溶接概要 2. 機器取扱いとメンテナンス 3. アルミニウム合金の種類と溶接性 4. シールドガスの種類と特徴 5. 電極の種類と先端形状 6. 各種継手における溶接施工法（溶接実習） ■夜間コースは18:00~21:00までの4日間行います。
		使用機器	TIG溶接装置一式、安全保護具一式、器工具一式
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、皮手袋
		受講料	16,000円 定員 8名
		備考	

A017	NEW スポット溶接施工技術		4日間
コース番号	実施日	コース内容	
A0171	11/21,22,24,25 (夜間コース) 18:00~21:00	訓練内容	スポット溶接におけるナゲット形成現象の理論的展開と、その結果発生する内部欠陥と対策を理解し、品質保証のための溶接施工条件や各種材料のスポット溶接工程の管理ポイントを学んでいきます。 1. スポット溶接の概要 2. ナゲット形成と品質 3. 欠陥の検証 4. 欠陥対策と品質管理 ■夜間コースは18:00~21:00までの4日間行います。
		使用機器	スポット溶接装置一式、安全保護具一式、器工具一式
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、皮手袋
		受講料	16,000円 定員 8名
		備考	

A018	板金加工における TIG 溶接と仕上げ実践技術		4日間
コース番号	実施日	コース内容	
A0181	10/3,4,6,7 (夜間コース) 18:00~21:00	訓練内容	薄板におけるTIGステンレス鋼溶接の"カンドコロ"と仕上加工を学科と実技を通して学んでいきます。 1. TIG溶接概要 2. 機器取扱いとメンテナンス 3. ステンレス鋼の種類と溶接性 4. シールドガスの種類と特徴 5. 電極の種類と先端形状 6. 各種継手における薄板の溶接施工法（溶接実習） 7. 仕上加工（バフがけ他） ■夜間コースは18:00~21:00までの4日間行います。
		使用機器	TIG溶接装置一式、安全保護具一式、器工具一式
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、皮手袋
		受講料	16,000円 定員 8名
		備考	

A019 旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）		5 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0191	5/9～13	訓 練 内 容	旋盤加工時の外内径加工において、加工条件の検討や図面で要求される部品形状（形状、寸法、粗さ等）を満たすための関連知識の把握とともに、実践的な旋盤技能を習得します。
A0192	6/6～10		1. 四ツ爪チャックによる高精度芯出し作業 2. 外内径加工 3. テーパ加工
A0193	10/24～28	使 用 機 器	普通旋盤、各種測定器
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓
A0194	12/5～9	受 講 料	21,500 円
		定 員	10 名
		備 考	

A020 旋盤によるねじ切り加工技術		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0201	6/15～17	訓 練 内 容	旋盤によるねじ加工における、ねじ切りバイトの研削作業、切削条件の選定、各種ねじ切り加工、および有効径測定などによるねじ精度検査など、高精度なねじ加工に必要な知識と技能を習得します。 1. ねじバイト製作 2. ねじ切り加工（1条ねじ、2条ねじ） 3. ねじ精度（外径・有効径）測定 対象者 「A019 旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使 用 機 器	普通旋盤、両頭グラインダー、各種測定器、三針
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓
		受 講 料	15,000 円
		定 員	10 名
		備 考	

A021 旋盤精密加工技術（総合課題編）		4 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0211	11/8～11	訓 練 内 容	部品加工において要求される各種精度（寸法公差、幾何公差、表面粗さ）を満たすための、加工工程や加工条件の検討、段取りの最適化など、課題加工実習を通して総合的な旋盤技能を習得します。 1. 外内径加工 2. 溝加工 3. ねじ加工 4. テーパ加工 対象者 「A019 旋盤加工技術（外内径&テーパ加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使 用 機 器	普通旋盤、各種測定器
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓
		受 講 料	17,500 円
		定 員	10 名
		備 考	

A022	旋盤加工技術（技能トライアル）			3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A0221	6/25,7/2,9	訓 練 内 容	旋盤加工作業において、要求される精度や加工効率を満足するために求められる技術・技能を、技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。 課題：技能検定（普通旋盤作業）2 級相当 1. コース概要及び技能検定概要 2. 加工工程の考え方と作業手順書 (1) 技能検定（普通旋盤作業）の実技課題について (2) 加工工程の考え方と注意点及び作業手順書の作成 3. 切削工具とソーリング 4. 加工条件と作業時間 (検定課題を例にした加工条件の考え方及び加工時間の計算方法) 5. 課題加工実習による検証と対策	
		使 用 機 器	普通旋盤、各種測定器	
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、切削工具、測定器	
		受 講 料	15,000 円	定 員 10 名
		備 考	切削工具、測定器は貸し出しもいたします。	

A023	フライス盤精密加工技術（溝加工編）			4 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A0231	4/19~22	訓 練 内 容	部品加工において要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討や段取り等について、課題加工実習を通して、実践的なフライス盤技能を習得します。 1. フライス盤における切削条件について 2. 六面体加工 3. 溝加工 4. 勾配加工	
A0232	10/4~7	使 用 機 器	立形フライス盤、 各種測定器	
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓	
		受 講 料	20,000 円	定 員 8 名
		備 考		

A024	フライス盤の実務（応用編）			4 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A0241	6/7~10	訓 練 内 容	課題加工実習を通して、高精度な位置決めから各種工具特性を活かした実践的加工技能を習得します。 1. 平行溝加工 2. あり溝加工 3. 曲面加工 4. はめ合わせ加工 対象者 「A023 フライス盤精密加工技術（溝加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方	
		使 用 機 器	立形フライス盤、 各種測定器	
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、関数電卓	
		受 講 料	20,000 円	定 員 8 名
		備 考		

A025	フライス盤加工技術（技能トライアル）		3日間
コース番号	実施日	コース内容	
A0251	6/25,7/2,9	訓練内容	フライス盤加工作業において、要求される精度や加工効率を満足するために求められる技術・技能を、技能検定課題を例に使用工具、加工手順、作業時間等の分析を通じて習得します。 課題：技能検定（フライス盤作業）2級相当 1. コース概要及び技能検定概要 2. 加工工程の考え方と作業手順書 （1）技能検定（フライス作業）の実技課題について （2）加工工程の考え方と注意点及び作業手順書の作成 3. 切削工具とソーリング 4. 加工条件と作業時間 （検定課題を例にした加工条件の考え方及び加工時間の計算方法） 5. 課題加工実習による検証と対策 対象者 「A023 フライス盤精密加工技術（溝加工編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使用機器	立形フライス盤、各種測定器
		持参品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね、切削工具、測定器
		受講料	17,000 円 定 員 8 名
		備考	切削工具、測定器は貸し出しもいたします。

A026		NEW 鉄鋼材料の材料特性と活用技術			2 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
A0261	6/22,23	訓 練 内 容	鉄鋼部品の材料選定及び加工方法の最適化めざして、鉄鋼材料の種類と特性に関する知識を習得します。 1. 元素から見た鉄鋼材料 2. 鉄の性質 3. 鉄鋼材料の種類 4. 熱処理 5. 切削性と加工改善			
		使 用 機 器	金属材料試験片			
		持 参 品	筆記用具、関数電卓			
		受 講 料	11,000 円	定 員	12 名	
		備 考	講師：元サンドビック株式会社 横山 明宜 (「元素から見た鉄鋼材料と切削の基礎知識」等の著者)			

A027	NC 旋盤技術（プログラミング編）		4日間
コース番号	実施日	コース内容	
A0271	5/31～6/3	訓練内容	課題加工実習を通して、要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討やプログラミング、段取り等を習得します。 1. Gコードを使ったプログラム 2. 加工工程の考え方 3. プログラムの考え方 4. 課題演習
A0272	9/6～9	使用機器	NC旋盤
		持参品	筆記用具、作業服
		受講料	17,000 円 定 員 10 名
		備考	

A028 NC 旋盤実践技術・加工編		4 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0281	6/14~17	訓 練 内 容	部品加工の製造現場におけるNC旋盤による高精度・高率化をめざして、必要となるNC旋盤の機能、工具、段取り、プログラム及び各種補正值の有効的な活用方法について、サンプルワークの加工実習を通して習得します。 1. 加工形状の把握と加工工程の決定 2. 課題演習 3. 加工形状を考慮した爪の成形 4. NC 旋盤における作業手順 5. 加工実習
A0282	9/13~16	使 用 機 器	NC旋盤、各種切削工具、各種測定器
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね
		受 講 料	17,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A029 マシニングセンタ実践技術（プログラミング編）		4 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0291	7/12~15	訓 練 内 容	課題加工実習を通して、要求される条件（形状、寸法、粗さ等）を満たすための加工方法の検討やプログラミング、段取り等を習得します。 1. プログラミングの基礎 2. 工具補正 3. 固定サイクル 4. サブプログラム 5. 課題プログラミング
A0292	1/10~13	使 用 機 器	Mazak FJV-200Ⅱ [MAZATROL 640M] (YAMAZAKI MAZAK COPR.)、データ入力装置
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	17,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A030 機械加工技術（マシニングセンタ加工編）		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0301	7/27~29	訓 練 内 容	金型、部品製造等におけるマシニングセンタ加工作業の効率化・高精度化をめざして、加工工程、段取り、切削条件等を実践的な課題加工実習を通し、製造現場で要求される製品加工及び生産性の向上ができる技能を習得します。 1. 課題図面のチェック 2. 加工プランの作成 3. プログラミング 4. 段取り 5. 加工
		使 用 機 器	Mazak FJV-200Ⅱ [MAZATROL 640M] (YAMAZAKI MAZAK COPR.)、データ入力装置、各種切削工具、測定機器
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね
		受 講 料	14,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A031 機械加工部品の測定・検査技術		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0311	6/28~30	訓 練 内 容	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を習得します。 1. 測定・検査の概論 2. 各種測定器の原理と測定方法 3. 測定誤差について 4. 測定課題実習
A0312	8/23~25	使 用 機 器	各種測定器と補助具
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	13,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A032 機械加工部品の測定・検査技術（技能トライアル）		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0321	12/3,10	訓 練 内 容	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を、技能検定課題を例に作業時間等の分析を通じて習得します。 課題：技能検定（機械検査）2 級相当 1. コース概要及び技能検定概要 2. 実技課題について （1）マイクロメータ等を使用した寸法測定 （2）歯厚マイクロメータを用いた歯車のまたぎ歯厚測定 （3）三針法によるねじプラグゲージの有効径測定 （4）外側マイクロメータの性能判定（器差及び平行度測定） 3. 測定手順の確認 4. 課題実習による検証と対策
		使 用 機 器	各種測定器と補助具
		持 参 品	筆記用具、関数電卓
		受 講 料	14,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A033 製造技術者のための油圧実践技術		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0331	5/24~26	訓 練 内 容	油圧機器の構造・作動原理・JIS による回路図記号を理解した上で、実機に用いられる主要な制御回路の構成、動作特性を実践的に習得します。 1. 油圧装置の概要と回路図 2. 油圧機器の概要 3. 作動油 4. 圧力制御・流量制御等を必要とする回路を想定した課題実習
A0332	9/13~15	使 用 機 器	油圧機器一式、油圧トレーニング装置一式
		持 参 品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受 講 料	16,000 円 定 員 8 名
		備 考	

RENEW

A034	油圧装置メンテナンスとトラブルシューティング				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0341	10/4~6 9:15~17:00 *実施時間が異なりますのでご注意ください	訓練内容	油圧装置の取扱い注意事項及びメンテナンスに関する作業についての確な判断ができ、作業の改善等に活用できる能力を習得します。 1. 油圧機器分解・組立実習 2. 油圧機器のトラブル要因 3. 作動油のメンテナンス 4. 油圧回路の解説およびトラブルの原因と対策		
		使用機器	油圧トレーニング装置一式、分解組立用油圧機器一式、トラブル診断用油圧機器一式		
		持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	17,500 円	定員	8名
		備考			

A035	空気圧機器の保全				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0351	11/8~10	訓練内容	空気圧機器の保全技術をトラブルシューティング実習を通して習得します。 1. 各種空気圧機器の構造と動作原理 2. 空気圧機器（エアフィルタ・レギュレータ・ソレノイドバルブ・スピコン）の分解・組立実習 3. 空気圧システムにおけるトラブル要因 4. 故障診断実習 5. 日常点検と予防保全		
		使用機器	空気圧トレーニング装置一式、分解組立・故障診断用空気圧機器一式、空気圧機器カットモデル		
		持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	15,000 円	定員	10名
		備考			

A036	NEW 空気圧実践技術				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
A0361	9/27~29	訓練内容	空気圧システムの最適化をめざして、空気圧機器の構造・動作原理・JISによる回路図記号を理解した上で、実機に用いられる主要な制御回路の構成、動作特性を理解し、装置のトラブル防止や問題解決・改善に対応した職務を遂行できる能力を習得します。 1. 空気圧の概要 2. 空気圧機器の構成 3. 空気圧機器の制御 4. 総合課題		
		使用機器	空気圧実習装置、空気圧機器カットモデル		
		持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	15,000 円	定員	10名
		備考			

A037 生産現場の機械保全実務		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0371	6/1,2 9:15~17:00 *実施時間が異なりますのでご注意ください	訓練内容	機械保全作業の技能高度化をめざして、トラブルを防ぐための保全作業や停止できない機械に対する設備診断技術を習得します。 1. 締結要素（ボルト・ナット）に関する保全 2. 伝達系機械要素（Vベルト・チェーン・歯車等）の保全 3. 油圧機器関係の保全 4. トラブル事例と原因・対策 5. 振動診断（転がり軸受・歯車等）と保全
		使用機器	回転機械トレーニング装置一式、油圧トレーニング装置一式、振動シミュレータ、振動計
A0372	12/7,8 9:15~17:00 *実施時間が異なりますのでご注意ください	持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受講料	12,500円 定員 9名
		備考	

A038 機械保全実践技術（振動・潤滑）		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0381	7/6,7 9:15~17:00 *実施時間が異なりますのでご注意ください	訓練内容	設備（回転機械）の異常、劣化を早期に予知し、設備の効率化をめざし、振動法及び潤滑油についての診断技術を習得します。 1. 振動計測と評価法 2. 振動（転がり軸受・歯車等）測定実習 3. 摩擦・潤滑概論 4. 潤滑法・潤滑油管理 5. 油性状分析実習
		使用機器	振動シミュレータ、振動計、回転計、潤滑油分析キット、温度計
		持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受講料	12,500円 定員 9名
		備考	

A039 機械保全実践技術（伝動装置・分解組立調整編）		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A0391	6/7~9 9:15~17:00 *実施時間が異なりますのでご注意ください	訓練内容	伝動装置の分解・組立調整作業を通して、各種機械要素の種類、構造及び取扱い方法を習得し、さらにトラブルに対応できる技能・技術や簡易振動診断の手法を習得します。 1. 伝動装置の機械要素部品の構造 2. 分解・測定実習 3. 組立て・調整・運転
		使用機器	分解・組立・調整用トレーニング装置、各種工具
		持参品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受講料	16,500円 定員 9名
		備考	

A040		NEW 機械保全実践技術（設備点検編）			3 日間	
コース番号		実 施 日	コ ー ス 内 容			
A0401	10/18～20	訓 練 内 容	産業機械等における設備の点検及び対処方法の効率化・最適化を目指して、伝動装置、空気圧装置等の異常の種類やその原因を理解し、点検法及びその対処法に関わる技能・技術を習得します。 1. 潤滑剤劣化診断実習 2. 空気圧装置点検実習 3. 伝動装置点検実習			
		使 用 機 器	各種潤滑油、汚染状態の潤滑油見本、空圧実習装置、伝動装置			
		持 参 品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴			
		受 講 料	14,000 円		定 員	9 名
		備 考				

A041		実践でわかる熱処理実践技術			3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容				
A0411	7/20～22	訓 練 内 容	金属材料選択の実現のために必要な鉄鋼材料の知識を学ぶとともに、実習を通じて熱処理技術を習得します。 1. 鉄鋼材料と合金元素 2. 熱処理条件 3. 硬さ試験 4. 組織観察 5. 表面硬化技術			
A0412	10/25～27	使 用 機 器	電気炉、金属顕微鏡、バフ研磨機、各種硬さ試験機			
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽			
		受 講 料	14,000 円	定 員	10 名	
		備 考				

A042		金属材料の選び方とその熱処理方法				3 日間		
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容				
A0421	11/30~12/2	訓 練 内 容		各種金属材料の特性と選定方法を学び、炭素鋼・特殊鋼（ステンレス鋼、軸受鋼、ばね鋼等）など金属材料の特性を発揮する加工法と最良の熱処理方法について習得できます。実習では、炭素鋼・特殊鋼を用いて、熱処理のポイント、焼入れ体験、試料の磨き方・組織観察・硬さ試験の方法を習得します。 1. 熱処理概要 2. 各種鉄鋼材の熱処理 3. 熱処理組織の観察と硬さ試験 ※「A041 実践でわかる熱処理実践技術」と内容が一部重複しております。				
		使 用 機 器		電気炉、金属顕微鏡、バフ研磨機、各種硬さ試験機				
		持 参 品		筆記用具、作業服、作業帽				
		受 講 料		15,000 円		定 員	10 名	
		備 考						

A043		機械組立仕上げのテクニック			4 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
A0431	5/24～27	訓 練 内 容	機械組立仕上げ・調整における高精度・高能率な技術・技能を、実践的な課題加工実習を通して習得します。 1. ヤスリ仕上げによる寸法だし 2. きさげ仕上げ 3. 組立調整および検査			
		使 用 機 器	定盤、ヤスリ、各種測定器			
		持 参 品	筆記用具、作業服、作業帽、安全靴、保護めがね			
		受 講 料	16,000 円		定 員	10 名
		備 考				

A044		在庫管理精度 99.99% を目指した在庫削減の進め方			2 日間		
コース番号		実 施 日	コ ー ス 内 容				
A0441	6/16,17	訓 練 内 容	在庫管理システムを活用した在庫削減をめざして、正しい在庫管理業務の意義と役割を認識し、在庫管理システムを機能させるために在庫管理精度99.99%を維持する方法や生産管理システムの計画情報との連動方法について習得します。 ①在庫削減に対する考え方 ②在庫削減に結びつける「生産管理システム」 ③在庫管理システム構築の留意点				
		使 用 機 器					
		持 参 品	筆記用具、電卓、定規				
		受 講 料	11,000 円		定 員	10 名	
		備 考	講師：工場改革実践コンサルタント 笹木 幸雄				

A045		製造現場における工程管理技法と改善（実践的活用例の習得）			2 日間	
コース番号		実 施 日	コ ー ス 内 容			
A0451	9/15,16	訓 練 内 容	生産現場における生産工程において、最適化・効率化及び改善をめざして、工程を管理する手法について習得します。 ①工程管理の考え方 ②工程管理と進捗管理 ③工程管理手法による実践的課題実習			
		使 用 機 器				
		持 参 品	筆記用具、電卓、定規			
		受 講 料	11,000 円		定 員	10 名
		備 考	講師：工場改革実践コンサルタント 笹木 幸雄			

A046 生産現場で使う品質管理技法（QC 7つ道具の使いこなしと部門毎の品質管理業務の習得）		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0461	6/9,10	訓 練 内 容	生産現場における生産性の効率化・最適化をめざして、科学的管理手法や統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。 ①生産現場で活用できる科学的管理手法 ②統計的手法を活用した品質向上 ③生産現場に活用できる応用課題実習
A0462	10/13,14	使 用 機 器	
		持 参 品	筆記用具、電卓、定規
		受 講 料	11,000 円 定 員 10 名
		備 考	講師：工場改革実践コンサルタント 笹木 幸雄

A047 生産現場を強化する人材育成（5 Sの活用）		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0471	5/12,13	訓 練 内 容	生産現場を強くする人材育成をめざして、5 Sを実践しながら基本行動を示した上で部下を指導し「現場力」をあげる事、また上司と部下双方のコミュニケーションを円滑にし、「組織力」を強くする手法を習得する。 ①5 Sの必要性 ②現場観察による5 Sのチェック ③5 Sによるコストダウン ④生産現場の管理手法 ⑤管理者の会得すべき能力 ⑥部下指導の考え方 ⑦儲かる体質の導く現場長の心得
A0472	9/8,9	使 用 機 器	
		持 参 品	筆記用具、電卓、定規
		受 講 料	11,000 円 定 員 10 名
		備 考	講師：工場改革実践コンサルタント 笹木 幸雄

A048 生産現場で活用するリーダーシップ手法		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0481	5/17,18	訓 練 内 容	生産・製造現場における生産性の向上及び製品の品質向上をめざして、部下の指導方法や育成方法などリーダーシップ手法を実践的な実習を通して習得します。 ①生産現場とリーダーシップ ②リーダーが目指すもの ③リーダーシップの要点 ④生産現場における事例演習
A0482	10/27,28	使 用 機 器	
		持 参 品	筆記用具、電卓
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A049 製造現場における問題発見・改善手法		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0491	7/28,29	訓 練 内 容	生産現場における業務の効率化・最適化（改善）による生産性向上をめざして、製造現場で発生する問題について、定量的および定性的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。 ①製造業における分析技法 ②製造業における定性的な問題の解決技法 ③事例演習
		使 用 機 器	
		持 参 品	筆記用具、電卓
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A050 技術者のための現場で使える原価管理		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0501	7/14,15	訓 練 内 容	生産現場における生産の効率化・最適化をめざして、経済性工学に基づいた原価管理を通じた現場の見える化により、コストを意識した現場改善の取り組み方法について習得します。 ①原価計算の概要 ②生産現場でのコストダウン手法 ③生産現場で活用できる原価管理（損益分岐点分析・標準原価計算・VE手法等）
		使 用 機 器	
		持 参 品	筆記用具、電卓
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A051 生産現場のための「実践作業標準書」		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A0511	10/13,14	訓 練 内 容	自社固有の生産技術や高精度製品の生産・加工技術の技能継承をめざして、作業標準の体系化を理解すると共に標準を守る習慣や職場の規律を改善し、ISOの取得や維持及び生産効率や品質の向上を目的とした実践的な作業標準書の作成方法や書式の作り方及び活用技法を習得する。 ①社内標準化の進め方 ②動機付け ③作業標準書の作成演習等
		使 用 機 器	パソコン 表計算ソフト
		持 参 品	筆記用具、電卓
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A052	統計的手法を活用した品質管理			2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A0521	1/19,20	訓 練 内 容	職場において発生する問題を統計的手法を活用して解決するための方法を学び、また、QC七つ道具の活用方法を学び、品質改善活動の支援できる能力を習得する。 ①標準偏差σの大切さ ②仮説検定の考え方 ③工程能力指数 ④相関と回帰 ⑤QC 7つ道具について ⑥統計的手法による品質改善 ※品質管理検定3級程度を目指す方にお勧めします	
		使 用 機 器	パソコン 表計算ソフト	
		持 参 品	筆記用具、電卓	
		受 講 料	10,000 円	定 員 10 名
		備 考		

A201 アナログ回路の設計・評価技術（トランジスタ編）		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2011	5/11,12	訓 練 内 容	トランジスタの特性を理解し、アナログ回路の設計技術を習得します。スイッチング回路、増幅回路の設計・製作実習を行う内容となっています。
A2012	9/14,15	使 用 機 器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、ブレッドボード、各種工具、電卓、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	15,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A202 アナログ回路の設計・評価技術（オペアンプ編）		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2021	5/18,19	訓 練 内 容	オペアンプの特性を理解し、各種増幅回路等の製作実習を通して、アナログ回路の設計技術を習得します。 ・反転増幅回路 ・非反転増幅回路 ・ボルテージフォロア ・オペアンプのデータシートについて ・比較回路 ・その他（応用回路等）
A2022	9/27,28	使 用 機 器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、ブレッドボード、各種工具、電卓、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	15,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A203 センサ回路の実践技術		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2031	11/17,18	訓 練 内 容	センサデバイスの特性を理解し、センサデバイスを含めたスイッチング回路・信号増幅回路の設計技術を習得することを目標とします。センサ素子からの微小な物理量の信号をトランジスタ、オペアンプなどを用いて、電気信号に変換・増幅する回路の製作実習を行う内容となっています。 ・光センサ（LED、PD） ・磁気センサ（ホール素子等） ・温度センサ（サーミスタ等） ・その他センサ A201 A202 アナログ回路の設計・評価技術（トランジスタ編・オペアンプ編）を受講していることが望ましい
		使 用 機 器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、ブレッドボード、各種工具、電卓、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	15,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A204	ディジタル回路設計（ロジック IC 編）			2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A2041	6/15,16	訓 練 内 容	ディジタル IC のハードウェアから、組み合わせ論理回路、レジスタ回路やカウンタ回路など、知識と論理回路を理解し、実習を通して回路設計につながる知識を習得します。	
		使 用 機 器	ディジタル IC、テスタ、各種工具、その他	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	12,000 円	定 員 10 名
		備 考		

A205	VHDL による LSI（FPGA）開発技術			3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A2051	7/5~7	訓 練 内 容	図記号を使って記述した回路設計に代わり、ハードウェア記述言語によるディジタル回路の設計手順を習得することを目標とします。VHDL 言語の文法解説と組合せ論理回路、フリップフロップ回路、カウンタ回路などのハードウェアのプログラミングを実習にて行う内容となっています。	
		使 用 機 器	FPGA 評価ボード、パソコン、各種工具、その他	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	12,000 円	定 員 10 名
		備 考		

A206	鉛フリーはんだ付け技術			2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
A2061	2/14,15	訓 練 内 容	ソルダ（はんだ）の鉛フリー化による問題の解決と品質向上をめざして、JIS 規格に基づいた、マニュアルはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得します。	
		使 用 機 器	はんだこて、実習用基板・部品、各種工具、その他	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	20,000 円	定 員 10 名
		備 考		

A207	プリント基板設計技術				2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容			
A2071	1/11,12	訓 練 内 容	電子系 CAD を使い電子回路設計図、回路パターン図を作成し、電子回路配線板を製作します。プリント基板設計のポイントやプリント基板製作の工程など、基板設計に必要な技術を習得します。 対象者 鉛フリーはんだを用いたはんだ付けの経験がある方。		
		使 用 機 器	パソコン一式、電子系 CAD (Altium Designer)、プリント基板設計・開発ツール		
		持 参 品	筆記用具		
		受 講 料	14,000 円	定 員	10 名
		備 考			

A208	機械制御のためのマイコン実践技術 (H8 マイコン編)				3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容			
A2081	7/12~14	訓 練 内 容	16 ビットマイコン (H8/3048F) を使用し、そのアーキテクチャの解説から、入出力制御、割込み制御、LCD 制御、A/D 変換制御、シリアル通信制御、各種モータ制御などの制御プログラミングを実習にて行う内容となっています。 対象者 B303 B304 組込みのためのプログラム開発技術 (C 言語関数編) と同 (C 言語ポインタ編) を受講された方。または C 言語に関して同等の知識をお持ちの方		
A2082	11/28~30	使 用 機 器	マイコン (H8/3048F)、外部負荷装置、パソコン、ROMライター、器具、その他		
		持 参 品	筆記用具		
		受 講 料	20,000 円	定 員	10 名
		備 考			

A209	マイコン制御システム開発技術 (PIC マイコン 16F877 編)				3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容			
A2091	4/19~21	訓 練 内 容	8 ビットマイコン (PIC/16F877) を使用し、そのアーキテクチャの解説から、入出力制御、割込み制御、LCD 制御、A/D 変換制御、各種モータ制御などの制御プログラミングを実習にて行う内容となっています。 対象者 B303 B304 組込みのためのプログラム開発技術 (C 言語関数編) と同 (C 言語ポインタ編) を受講された方。または C 言語に関して同等の知識をお持ちの方		
		使 用 機 器	マイコン (マイクロチップ: PIC/16F877)、パソコン、DC モータ、各種センサ、その他		
		持 参 品	筆記用具		
		受 講 料	18,000 円	定 員	10 名
		備 考			

A210 電動機制御のための有接点シーケンス制御		4 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2101	4/12~15	訓練内容	有接点シーケンス制御による電動機運転のための各種制御回路の設計、組立、運転などに必要な技能・技術を習得します。 実習回路 ①直入れ始動 ②自動・手動運転 ③2カ所運転 ④タイマー運転 ⑤正転・逆転運転 ⑥Y-Δ始動
A2102	8/30~9/2		
A2103	12/13~16	使用機器	実習用ボード、テスト、工具一式、制御用機器一式（電磁接触器、補助リレー、スイッチ、表示灯、サーマルリレー、タイマ、端子台）、三相誘導電動機、センサボード、その他
		持参品	筆記用具
A2104	2/7~10	受講料	15,000 円
		定員	10 名
		備考	

A211 制御盤製作のための実践的技術（配線設計編）		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2111	5/17~19	訓練内容	シーケンス制御回路の設計及び制御盤内の効率の良い配線経路の設計手法を学ぶとともに、模擬制御盤を使用しての主回路・制御回路の組立てと、その実務作業を習得します。 対象者 「A210 電動機制御のための有接点シーケンス制御」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
A2112	10/25~27		
		使用機器	実習用ボード、テスト、工具一式、制御用機器一式（電磁接触器、補助リレー、スイッチ、表示灯、サーマルリレー、タイマ、端子台、ダクト）、三相誘導電動機、センサボード、その他
		持参品	筆記用具
A2113	2/28~3/2	受講料	20,000 円
		定員	5 名
		備考	

A212 PLC による自動化制御技術（三菱編）		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2121	4/26~28	訓練内容	三菱電機製の PLC を対象として、シーケンス命令の解説とシミュレータを使用してのラダーチャート作成演習を行います。 対象者 「A210 電動機制御のための有接点シーケンス制御」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
A2122	9/27~29		
A2123	11/8~10	使用機器	PLC（三菱電機 Q2AS もしくは Q03UDECPU）、パソコン、スイッチ、表示灯、シミュレータ、その他
		持参品	筆記用具
A2124	2/21~23	受講料	15,000 円
		定員	10 名
		備考	

A213 数値処理による PLC 制御技術（三菱編）		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2131	6/14~16	訓練内容	三菱電機製の PLC を対象として、数値データの取扱い、応用命令などについて解説し、模擬負荷装置を使用してラダーチャート作成演習を行います。 対象者 「A212 PLC による自動化制御技術（三菱編）」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使用機器	PLC（三菱電機 Q2AS もしくは Q03UDECPU）、パソコン、FA モデル（模擬負荷装置）、その他
A2132	1/17~19	持参品	筆記用具
		受講料	15,000 円
		定員	10 名
		備考	

A214 電気系保全実践技術		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2141	10/4~6	訓練内容	電気系保全作業に必要な知識および技能を、技能検定「電気系保全作業」の課題を通して習得します。（PLC 入出力配線、ラダー回路作成、仕様変更へのラダー回路対応、リレー・タイマ点検、有接点シーケンス回路点検・修復） 対象者 「A212 PLC による自動化制御技術（三菱編）」と「A210 電動機制御のための有接点シーケンス制御」の両方を受講された方、または同等の知識をお持ちの方
		使用機器	技能検定 電気系保全作業 実技試験学習ユニット、PLC（三菱電機製）、パソコン、プログラミングツール (GX Developer)、工具、その他
		持参品	筆記用具
		受講料	15,100 円
		定員	10 名
		備考	課題については、技能検定 1 級または 2 級のどちらかを選択していただきます。

A215 PLC 制御による位置決め制御技術		2 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
A2151	11/15,16	訓練内容	自動化生産システムの設計・保守の最適化及び生産性の向上を目指して、PLC の位置決め制御に関する手法と、シーケンス制御に関する応用力を習得します。 対象者 「A213 数値処理による PLC 制御技術（三菱編）」を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方
		使用機器	PLC（三菱電機 Q03UDECPU）、位置決めユニット（QD75D2）、パソコン、一軸サーボモータシステム、各種工具、その他
		持参品	筆記用具
		受講料	11,000 円
		定員	10 名
		備考	

A216	PLC 制御における実践的インバータ制御技術		2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2161	9/6,7	訓 練 内 容	自動化生産システムの設計・保守の最適化及び生産性の向上を目指して、データ処理のプログラミング技法と、PLC によるインバータの制御法を習得することにより、シーケンス制御に関する応用力を習得します。 対象者 「A213 数値処理による PLC 制御技術（三菱編）」を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方
		使 用 機 器	PLC（三菱電機 Q03UDECPU）、入出力ボックス、汎用インバータ、パソコン、三相誘導電動機、工具、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	11,000 円
		備 考	定 員 10 名

A217	電気・機械技術者のための計測・制御実践技術（プログラム開発編）		3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2171	11/29~12/1	訓 練 内 容	電気・機械技術者がパソコンを活用して業務の効率化・自動化などの改善を図るための Windows アプリケーションを作成する技術を習得します。アプリケーションの作成方法から画面開発、基本文法を学習します。また、RS-232C や Ethernet を活用して、計測器やマイコンなどと通信を行い計測や制御の自動化を図るアプリケーションを作成します。当コースを受講することにより VisualBasic2008 を用いて計測器や機器（マイコン、PLC）の制御が行えるようになります。
		使 用 機 器	パソコン、VisualBasic2008、計測器、PLC（三菱電機 Q03UDECPU）、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	18,000 円
		備 考	定 員 10 名

A218	PLC データ管理技術		2 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2181	12/7,8	訓 練 内 容	自動化生産システムの生産状況の監視や保守などの最適化および生産性の向上を図るための Windows アプリケーションの作成技術を習得します。PLC との通信は、Ethernet を経由して行います。当コースを受講することにより、Ethernet 経由でパソコンと PLC との通信が行えるようになり、PLC 内部に存在する生産データや稼働状態などの読み書きができるようになります。 対象者 「A213 数値処理による PLC 制御技術（三菱編）」を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方 かつ 「A217 電気・機械技術者のための計測・制御実践技術（プログラム開発編）」を受講された方、もしくは同等の知識をお持ちの方
		使 用 機 器	PLC（三菱電機 Q03UDECPU）、パソコン、VisualBasic2008、FA モデル（模擬負荷装置）、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	14,000 円
		備 考	定 員 5 名

A219 空気圧機器の選定技術		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2191	5/19,20	訓 練 内 容	空気圧アクチュエータの動きに影響する駆動制御系の機器サイズの選定と回路構成について習得します。 ①空気圧の概要 ②空気圧機器と空気圧回路 ③空気圧制御回路実習 ④各種空気圧機器の選定方法
		使 用 機 器	空気圧実習装置、空気圧機器カットモデル
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	9,500 円 定 員 10 名
		備 考	講師：SMC 株式会社 ※当コースは、ポリテクセンター関西でも実施しております。詳しくは 54 ページをご参照下さい。

A220 現場のための実践的電気計測技術		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2201	6/9,10	訓 練 内 容	電気工作物等の計器類の使用方法について、測定実習を通して、体系的に習得します。 ①国際単位系 SI ②電気の世界とテスタでの計測 ③正弦波交流とメータでの測定 ④高圧受変電設備と屋内回路 ⑤感電とは ⑥三相誘導機に流れる電流 ⑦力率改善 ⑧各種計測の実際 (電圧・電流・絶縁抵抗・接地抵抗・漏洩電流)
A2202	10/6,7		
A2203	3/16,17	使 用 機 器	各種電気計測器、誘導電動機、高圧ケーブル、絶縁抵抗計、接地抵抗計、相順計、その他
		持 参 品	筆記用具
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	

A221 低圧配電機器選定と保護協調		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
A2211	7/25,26	訓 練 内 容	配電盤・制御盤設計及び組立において、配線用遮断器や漏電遮断器を選定するにあたり必要となる関連法規や電気回路の計算知識 (パーセントインピーダンス法、インピーダンスマップなど)、選択遮断方式時における保護協調の取り方などを習得します。 ①インピーダンスマップの作成 ②配線用遮断器の選定 (% Z 法・簡易法による選定) ③漏電遮断器の選定 ④保護協調
		使 用 機 器	配線用遮断器、漏電遮断器、訓練用キュービクル、その他
		持 参 品	筆記用具、関数電卓
		受 講 料	10,600 円 定 員 10 名
		備 考	

A222	自家用電気工作物の高圧機器技術				2日間
コース番号	実施日	コース内容			
A2221	5/26,27	訓練内容	高圧受電設備の構成と役割を実機で確認し、高圧受電設備保守点検を実施するための高圧機器操作等の実習により、自家用電気工作物の維持及び運用実務などを習得します。 ①高圧受電設備の構成と役割 ②高圧受変電設備用機器 ③高圧受変電設備結線図		
A2222	10/15,16 土日コース	使用機器	訓練用キュービクル、高圧受変電設備用機器、フック棒、検電器、安全ヘルメット、高圧絶縁手袋、高圧絶縁上衣、高圧絶縁靴、その他		
		持参品	筆記用具		
		受講料	10,000 円	定員	10 名
		備考			

A223	保護継電器の評価と保護協調				2日間
コース番号	実施日	コース内容			
A2231	11/5,6 土日コース	訓練内容	高圧受変電設備における保守・点検の技能高度化をめざして、保護継電器試験の技能・技術を習得します。また、配電用変電所やMCCB との保護協調についても習得します。 ①高圧受変電設備の保護継電器概要 ②動作特性試験実習（OCR、GR、DGR） ③過電流保護協調、地絡保護協調 対象者 「A222 自家用電気工作物の高圧機器技術」を受講された方、または同等の知識をお持ちの方		
		使用機器	保護継電器試験器、位相特性試験器、高圧受変電設備実習装置、工具一式		
		持参品	筆記用具		
		受講料	10,600 円	定員	10 名
		備考			

A224	光ケーブル端末処理技術				2日間
コース番号	実施日	コース内容			
A2241	5/20,21 金土コース	訓練内容	光ファイバ通信の基礎知識を理解し、融着接続・測定実習により、光ファイバ通信工事に必要な知識・技能を習得します。 ①光通信の概要 ②単芯融着接続・4 芯融着接続実習 ③光ロステストによる測定・評価 ④メカニカルスプライス法、現場組立SCコネクタ作成 ⑤光パルス試験器（OTDR）による伝送路測定		
A2242	10/22,23 土日コース	使用機器	光成端箱、光ケーブル、組立工具一式、融着接続器、OTDR、光ロステストセット		
		持参品	筆記用具		
		受講料	12,000 円	定員	12 名
		備考			

A225	光 LAN 構築施工・評価技術				3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容			
A2251	6/28~30	訓 練 内 容	光ファイバの原理を理解し、融着接続・測定実習や光ネットワーク構築実習（光スイッチ、メディアコンバータ等）を用いて光 LAN システムを施工・評価できる技能を習得します。 ①光通信の概要 ②単芯融着接続・4 芯融着接続実習 ③光ロステスタによる測定・評価 ④光パルス試験器（OTDR）による伝送路測定 ⑤光成端箱（収納箱）の設置・施工		
A2252	2/8~10	使 用 機 器	光ファイバケーブル、光ファイバパッチコード、光コネクタ、光接続箱、光ロステストセット、メディアコンバータ、19 インチラック、その他		
		持 参 品	筆記用具		
		受 講 料	15,000 円	定 員	12 名
		備 考	A224 コースに光 LAN の内容を付け足したコースです。		

ポリテクセンター京都からのお知らせ

企業・事業主団体等の皆さまへのサポート

1 従業員の職業能力・向上についての相談・援助

事業主団体及び事業主の皆様に対して、従業員の職業能力開発のための相談援助を行っています。

- (1) 人材育成に必要な研修計画（カリキュラム作成、教材、講師、会場等）
- (2) 講師の派遣、講師の紹介
- (3) その他研修機関の紹介

2 施設開放

事業主団体及び事業主の皆様が自ら行う教育訓練・研修の場として、当センターの施設・設備の開放を行っております。講習会や研修、会議の場などに最適な実習場や教室・機器が利用できますので、是非ご相談ください。

3 人材の紹介

当センターでは、求職者を対象とした 6 ヶ月または 7 ヶ月の離職者訓練を実施しています。毎月、修了科ごとの、「求職情報一覧表」を作成し、企業様へ配布させていただいています。HP へも掲載していますので、是非ご覧いただきまして、人材採用の際には、意欲あふれる当センターの訓練生のご活用をご検討ください。

【離職者訓練】

- 6 ヶ月コース…溶接施工技術科、CAD / CAM / NC 科、機械設計 CAD 科、ビル設備サービス科、電気設備技術科、生産管理実務科、製造ライン技術科、IT 生産サポート科、組込みマイコン技術科
- 7 ヶ月コース…若年者溶接施工技術科、若年者機械加工技術科、若年者電気設備技術科（若年者コースは概ね 40 歳未満の方を対象としています。）

また、訓練生への企業説明会、当センターの施設見学会も随時受付中です。詳しくは訓練課 訓練支援係までお問い合わせ下さい。

TEL : 075-951-7397 FAX : 075-951-7393 E-mail : kyoto-poly03@jeed.or.jp

MEMO

[illegible]

ポリテクカレッジ京都編 能力開発セミナー受講マップ

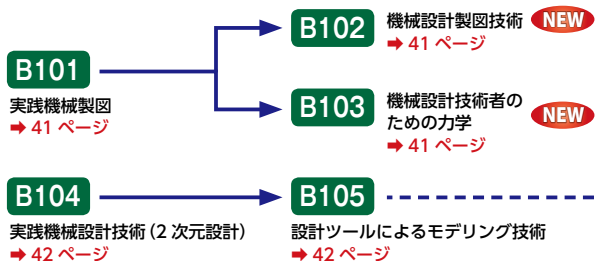
表示説明

分類番号
コース名

この順序で受講される
ことをお勧めします

機械設計・製図

設計製図の技術を身につけたい



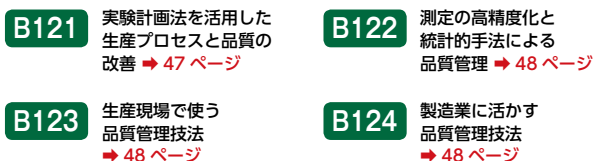
測定・検査技術

測定、検査ができるようになりたい



管理技術

品質の管理ができるようになりたい



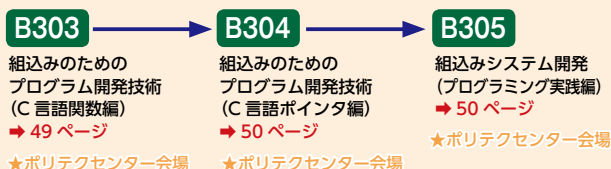
回路設計技術

アナログ素子の設計方法について理解を深めたい



マイコン制御技術

マイコンの開発言語の知識を高めたい



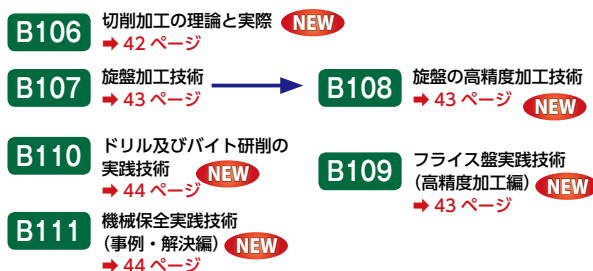
組込みソフトウェアの理解を深めたい



加工技術

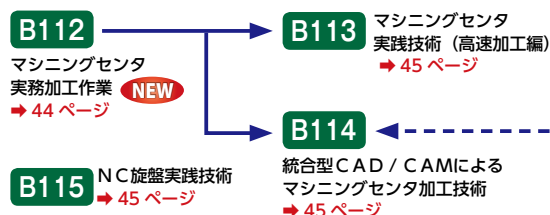
機械加工技術

汎用工作機械を操りたい



NC加工技術

NC工作機を操りたい

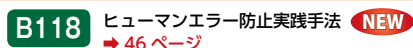


溶接加工技術

溶接技術を身につけたい

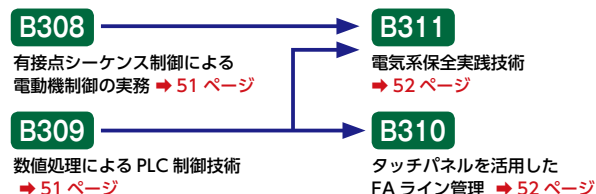


安全



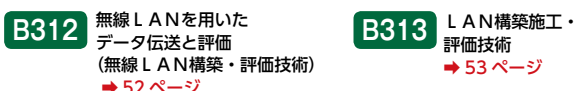
シーケンス制御技術

シーケンス制御技術を高めたい



通信設備技術

電気通信設備技術者として知っておくべき知識を高めたい



能力開発セミナーコース内容

機械設計・製図技術

B101	実践機械製図			3日間
コース番号	実施日	コース内容		
B1011	4/18~20	訓練内容	設計製図の基本を押さえながら、機械設計業務の効率化をめざして、演習も交え、実際に製図をしながら実践的な知識、技能を習得します。 1. 製図一般、2. 図学、3. 図形・寸法の表し方、4. 製図に必要な関連規格、5. 機械要素部品の図示法	
		使用機器	製図機器・用具一式、製図モデル等	
		持参品	筆記用具、関数電卓	
		受講料	13,000 円	定員 10 名
		備考		

B102		NEW 機械設計製図技術			5 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
B1021	10/3～7	訓 練 内 容	機構設計、自動化設計業務に係る変速機の試作開発による高付加価値化をめざして、現場の設計事例を基に、荷重等の設計仕様における正しい見極めや適切な材料選定方法及び実務に即した効率的な設計の遂行に関する実務能力を習得します。 1. 機構設計概論、2. 自動化設計概論、3. 変速機、4. 設計システム 5. 基本設計、6. 歯車・軸・軸受け・ケーシングの設計システム 7. 設計実習			
		使 用 機 器	設計資料			
		持 参 品	筆記用具、関数電卓			
		受 講 料	20,500 円		定 員	10 名
		備 考				

B103		NEW 機械設計技術者のための力学			3 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
B1031	7/13～15	訓 練 内 容		機械設計や治工具設計による高付加価値化をめざして、機械の力学や材料の強度設計、また、機械要素設計（ねじ・軸・軸受・歯車）など詳細設計に必要な力学の全般を習得します。 1. 強度設計の重要性、2. 機械の力学、3. 材料の静的強度設計 4. 機械要素設計、5. 機械設計課題		
		使 用 機 器				
		持 参 品		筆記用具、関数電卓		
		受 講 料		13,000 円	定 員	10 名
		備 考				

B104 実践機械設計技術（2次元設計）		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1041	4/20~22	訓練内容	機械設計における2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、製品企画から具体的加工の指示を出すための図面（設計製図、工程図等）の作図方法、CADを使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的な使用法及びデータ管理方法について習得します。 1. 構想と基本設計、2. 詳細設計・作図、実習課題、3. 図面の標準化
		使用機器	2次元CAD（AutoCAD）
		持参品	筆記用具
		受講料	13,500円 定員 10名
		備考	

B105 設計ツールによるモデリング技術		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1051	1/17~19	訓練内容	製品設計業務における機械設計の効率化をめざして、ソリッドモデルを中心に3次元CADを設計ツールとして効果的に活用した設計プロセスと、PDQと量産までの後工程を意識した高品質なCADデータ作成方法を習得します。 1. 設計ツールとしての3次元CAD活用 2. 設計を考慮したモデリング、3. アセンブリ、4. 図面作成 5. 総合課題実習
		使用機器	3次元CAD/CAMシステム（SolidWorks2010）
		持参品	筆記用具
		受講料	14,000円 定員 10名
		備考	

B106 NEW 切削加工の理論と実際		3日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1061	4/25~27	訓練内容	切削加工における生産効率・品質向上をめざして、切削加工の理論と実際の相違点を学習し、生産現場における問題解決を図り、効率化や後進の指導ができる能力を習得します。 1. 各種加工法の理論 2. 問題解決実習
		使用機器	表面粗さ測定機、切削動力計、旋盤、フライス盤、各種切削工具
		持参品	筆記用具
		受講料	16,500円 定員 10名
		備考	

B107	旋盤加工技術			5 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B1071	10/24~28	訓 練 内 容	部品加工や治工具製作作業における技能の継承をめざして、要求される条件を満足するための加工方法の検討や段取り等について、課題加工実習を通して、実践的な旋盤作業に関する問題解決能力を習得します。 1. 芯出し作業、2. 高精度部品の加工時検討事項、3. 工具研削 4. 寸法精度、5. 形状精度、6. 加工実習 7. 仕上げ面精度の確認・評価	
		使 用 機 器	普通旋盤、各種バイト、測定器具、あらさ測定機	
		持 参 品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴	
		受 講 料	22,000 円	定 員 10 名
		備 考		

B108	NEW 旋盤の高精度加工技術			4 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B1081	8/25~28	訓 練 内 容	部品加工や治工具製作における旋盤作業の技能高度化をめざして、各種の工具特性を生かした実践的加工及び高精度加工を通じて、熟練技能者のための知識・技術を習得します。 1. 芯出し作業、2. 高精度部品の加工、3. 工具研削、4. 寸法精度 5. 形状精度、6. 仕上げ面精度の確認・評価	
		使 用 機 器	普通旋盤、各種バイト、測定器具、あらさ測定機	
		持 参 品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴	
		受 講 料	19,500 円	定 員 10 名
		備 考		

B109	NEW フライス盤実践技術（高精度加工編）			4 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B1091	10/5~8	訓 練 内 容	部品加工や治工具製作におけるフライス盤作業の技能高度化をめざして、課題加工実習を通して、高精度な溝削り、曲面削りなどフライス盤作業における実践的な各種加工方法と高精度加工法を習得します。 1. 公差の規格、2. 高精度加工実習、3. 騒動課題実習 4. 精度評価・確認	
		使 用 機 器	汎用フライス盤、各種工具、測定器具、あらさ測定機	
		持 参 品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴	
		受 講 料	29,500 円	定 員 5 名
		備 考		

B110	NEW ドリル及びバイト研削の実践技術				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
B1101	5/16～18	訓練内容	部品加工や治工具製作作業における旋削加工の高精度や特殊形状等の加工作業の効率化をめざして、バイト研削実習、ドリル研削、及び加工・評価を通して、旋削加工に使用する工具の研削についての技能・知識を習得します。 1. 切削工具と旋削加工、2. バイト・ドリル研削と加工評価		
		使用機器	汎用旋盤、両頭グラインダ、超硬工具研削盤、ボール盤		
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	24,500 円	定員	5 名
		備考			

B111	NEW 機械保全実践技術（事例・解決編）				3日間
コース番号	実施日	コース内容			
B1111	8/31～9/2	訓練内容	機械加工における機械要素、油圧・空圧、金属・非金属材料について、設備の診断や予防保全をめざして、異常状態の種類やそのメカニズムを理解し、それらの異常に対する評価・解析及び実践的な対処方法を習得します。 1. 機械の主要構成要素、2. 材料の機械的性質と検査 3. 転がり軸受・歯車の損傷と原因対策、4. 油圧及び空気圧機器 5. 潤滑油の異常と判定法		
		使用機器	測定器・転がり軸受・歯車・潤滑油・設備診断システム		
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	15,500 円	定員	10 名
		備考			

B112	NEW マシニングセンタ実務加工作業				5日間
コース番号	実施日	コース内容			
B1121	8/1～5	訓練内容	機械部品製造における金型加工・機械部品加工・治工具製作等の高精度加工と効率化（改善）をめざして、実用的な課題による実践的な技能・技術を習得します。 1. 高精度加工のポイント、2. 作業効率アップのポイント 3. 効果的なプログラム作成、4. 総合課題実習、5. 精度評価		
		使用機器	マシニングセンタ、データ入力装置、各種切削工具、各種測定機器		
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴		
		受講料	24,000 円	定員	10 名
		備考			

B113		マシニングセンタ実践技術（高速加工編）			3 日間	
コース番号		実 施 日	コ ー ス 内 容			
B1131	8/24～26	訓 練 内 容	部品加工など切削加工作業の効率化をめざして、部品及び金型加工において、切削機械の選択、切削工具材の選択、加工方法の選択、適正な加工条件の設定等、高精度・高品質な加工面の加工方法について技術を習得します。 1. 高速高能率マシニングセンタ、2. 切削工具及びツーリングホルダ 3. 加工方法及び加工条件、4. 加工実習			
		使 用 機 器	マシニングセンタ、DNC 装置、各種切削工具及び測定器			
		持 参 品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴			
		受 講 料	17,500 円		定 員	10 名
		備 考				

B114		統合型 CAD/CAM によるマシニングセンタ加工技術		3 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容	
B1141	12/7~9	訓 練 内 容	機械器具製造における切削加工作業の効率化をめざして、統合型 CAD／CAMを用いて、2.5 軸CAM機能と 3 軸CAM機能による NC加工定義を中心に学習し、部品加工及び金型の高速加工実習と、製品の評価・工具の摩耗状態・加工時間等より加工パスの最適化を行い、適切な加工条件の設定、加工方法の検討等が行える技術を習得します。 1.CAD 作業、2.2.5 軸 CAM、3. 部品加工実習、4.3 軸 CAM 5. 高速加工技術、6. 金型加工実習		
		使 用 機 器	マシニングセンタ、CAD/CAM システム（Space-E）		
		持 参 品	筆記用具		
		受 講 料	15,500 円	定 員	10 名
		備 考			

B115		NC旋盤実践技術			4 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
B1151	6/21～24	訓 練 内 容	部品加工の製造現場において、与えられた図面や生産条件（生産数量・製品精度等）に基づいた最適化（改善）をめざして、工程立案、段取り、要求される条件をクリアできる効果的手法を課題作成を通して習得します。 1. 応用プログラム、2. 複数工具補正の使用、3. 特殊機能 4. 課題解説、5. プログラミング課題実習、6. 成果発表、7. 加工実習			
		使 用 機 器	NC旋盤、データ入力装置、各種切削工具、各種測定機器			
		持 参 品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴			
		受 講 料	21,000 円		定 員	10 名
		備 考				

B116 NEW マグ溶接技能クリニック		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1161	11/15,16	訓練内容	マグ溶接の技能高度化をめざして、課題実習を通して、マグ溶接に対する技能を補い、実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 1. 溶接実習、2. 総合課題実習、3. 成果発表
		使用機器	マグ溶接装置一式、安全保護具一式、器工具一式
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受講料	27,000 円 定員 5名
		備考	

B117 NEW TIG溶接実践技術（アルミニウム合金板材編）		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1171	11/17,18	訓練内容	TIG溶接作業の技能高度化をめざして、現在の習熟度を確認し、その結果に基づいてアルミニウム合金のTIG溶接作業の各種継手の溶接を行い、自己確認を行いながら溶接条件の確認、電極の種類及び先端形状による影響の確認を行うことにより、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 1. アルミニウム合金選定のポイント、2. 溶接施工・実習 3. 溶接欠陥と対策
		使用機器	TIG溶接装置一式、安全保護具、器工具一式、溶接継手曲げ試験機
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服、作業帽、安全靴
		受講料	27,000 円 定員 5名
		備考	

B118 NEW ヒューマンエラー防止実践手法		2日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B1181	10/22,23	訓練内容	製造現場の安全性向上（作業環境対策）をめざして、ヒューマンエラーの現状や発生メカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）を講じるための能力をKYTを通して習得します。 1. 脳の働きとエラー、2. エラーのメカニズム 3. 製造業におけるエラーの分類、4. エラーの防止策 5. 課題の把握・解決策検討演習（KYT）
		使用機器	テキスト、プレゼンテーション機器一式
		持参品	筆記用具、関数電卓
		受講料	11,500 円 定員 10名
		備考	

B119	機械加工部品の測定・検査技術			3日間
コース番号	実施日	コース内容		
B1191	8/24,31,9/7	訓練内容	機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化をめざして、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的計測技能・技術を習得します。 1. 測定の基礎、2. 測定誤差、3. 長さの測定器、4. 測定及び製図作業	
		使用機器	各種測定器と補助具	
		持参品	筆記用具、関数電卓、作業服	
		受講料	13,500 円	定員 10 名
		備考		

B120		NEW 製造現場に活かす「ひずみゲージと応力測定技術」		2 日間	
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容	
B1201	10/17,18	訓 練 内 容	切削効率や切削状態の最適化をめざして、切削力や締め付け力など機械加工に必要とされる応力及びひずみ測定技術を習得します。 1. ひずみ測定概論、2. ひずみゲージの原理と構造 3. 温度に対する測定誤差と対策、4. 機械加工における応力測定 5. 片持ち梁の変位・応力計算、6. 応用課題実習		
		使 用 機 器	ひずみゲージ、ひずみ測定器、表計算ソフト		
		持 参 品	筆記用具、関数電卓		
		受 講 料	12,000 円	定 員	10 名
		備 考			

B121		実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善		2 日間		
コース番号		実 施 日		コ ー ス 内 容		
B1211	11/2,12/7	訓 練 内 容	製品の高付加価値化をめざして、生産プロセスの改善と製品の品質の向上のため、因果が複雑に絡み合った現場の生産プロセスと品質改善の問題に対して、有効な解決法である実験計画法による効果的な実験の計画と実践的なデータ解析手法について習得します。 1. 実験計画法、2. 一元・二元・三元配置法の活用 3. 直行配列表の活用、4. 総合実習			
		使 用 機 器	パソコン、プレゼンテーション装置			
		持 参 品	筆記用具、電卓、QC 検定受験テキスト 2 級（日科技連出版社）			
		受 講 料	6,500 円	定 員	10 名	
		備 考	上記持参品テキストの価格 3,888 円(税込)			

B122 測定の高精度化と統計的手法による品質管理		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
B1221	11/14~16	訓 練 内 容	生産現場における測定・検査作業の効率化・最適化をめざして、測定の誤差要因とその対処法とともに統計的手法を用いた品質管理に基づいた測定データの活用法により、高精度かつ信頼性のある品質管理手法を習得します。 1. 測定の重要性 2. 誤差要因と高精度化 3. 統計的手法による品質管理及び実習
		使 用 機 器	表計算ソフト
		持 参 品	筆記用具、関数電卓
		受 講 料	14,000 円 定 員 10 名
		備 考	

B123 生産現場で使う品質管理技法		2 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
B1231	8/3,5	訓 練 内 容	生産現場において、生産性の効率化・最適化をめざして、科学的な管理手法として統計的手法を活用した品質管理の各種手法について習得します。 1. 生産現場で活用できる科学的な管理手法 2. 統計的手法を活用した製造・検査工程の品質向上、生産現場に活用できる応用課題実習
		使 用 機 器	パソコン、プレゼンテーション装置
		持 参 品	筆記用具、電卓、QC 検定受験テキスト3級（日科技連出版社）
		受 講 料	6,500 円 定 員 10 名
		備 考	上記持参品テキストの価格 3,024 円(税込)

B124 製造業に活かす品質管理技法		3 日間	
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容	
B1241	10/1,11/5,12/3	訓 練 内 容	製品の品質保証や生産効率の向上をめざして、製造現場で活用できる品質管理手法を習得します。 1. 製造業における品質管理の技法 2. 製造業における品質保証の方法 3. 生産現場における管理手法の活用実習 4. 応用課題実習
		使 用 機 器	パソコン、プレゼンテーション装置
		持 参 品	筆記用具、電卓、QC 検定受験テキスト3級（日科技連出版社）
		受 講 料	10,000 円 定 員 10 名
		備 考	上記持参品テキストの価格 3,024 円(税込)

B301	アナログ回路の設計・評価技術（トランジスタ編）			2日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3011	3/15,16	訓練内容	トランジスタを用いたアナログ回路の設計・開発の効率化・最適化（改善）をめざして、実用的なアナログ回路の設計技術とその評価技術を習得します。 1. トランジスタの知識 2. 増幅回路の知識・設計方法 3. 総合実習	
		使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、マルチメータ、パソコン、回路シミュレータ、その他	
		持参品	筆記用具	
		受講料	15,000 円	定員 10 名
		備考		

B302	アナログ回路の設計・評価技術（オペアンプ編）			2日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3021	3/22,23	訓練内容	オペアンプを用いたアナログ回路の設計・開発の効率化・最適化（改善）をめざして、実用的なアナログ回路の設計技術とその評価技術を習得します。 1. オペアンプの知識 2. 増幅回路の知識・設計方法 3. 総合実習	
		使用機器	直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、マルチメータ、パソコン、回路シミュレータ、その他	
		持参品	筆記用具	
		受講料	15,000 円	定員 10 名
		備考		

B303	組込みのためのプログラム開発技術（C言語関数編）			2日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3031	5/10,11	訓練内容	マイコン制御システムにおけるプログラム開発に必要なC言語（制御構造、データ等の書法）を習得することにより、設計開発時におけるプログラミング上の問題解決を図ります。 1. 変数とデータ型、2. 記憶クラス 3. 演算子、4. 制御文 5. 配列、6. その他 会場はポリテクセンター京都です	
B3032	7/19,20	使用機器	パソコン、エディタ、Cコンパイラ、デバッガ等	
		持参品	筆記用具	
		受講料	15,000 円	定員 10 名
		備考	パソコンを使って英数文字入力等、キーボード操作ができる方	

B304 組込みのためのプログラム開発技術（C言語ポインタ編）		2 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B3041	5/24,25	訓練内容	マイコン制御システムにおけるプログラム開発に必要なC言語（ポインタ、構造体等の書法）を習得することにより、設計開発時におけるプログラミング上の問題解決を図ります。 1. ポインタ、2. 関数ポインタ、3. 構造体・共用体 4. プリプロセッサ、5. ファイル操作、6. その他 会場はポリテクセンター京都です
B3042	8/2,3	使用機器	パソコン、エディタ、Cコンパイラ、デバugg等
		持参品	筆記用具
		受講料	15,000 円 定員 10 名
		備考	B303 組込みのためのプログラミング開発技術（C言語関数編）を受講された方、又は同等のプログラミング経験をお持ちの方

B305 組込みシステム開発（プログラミング実践編）		3 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B3051	8/24~26	訓練内容	マイコン組込み機器のソフト開発に使用されるC言語の特徴的な書法や、マイコン上でのプログラム実行に関する知識・技術を習得することを目標とします。C言語により周辺デバイスのプログラミング実習を行う内容となります。 1. I/O制御、2. シリアルインタフェース 3. 割り込み等の例外処理、4. タイミング動作 会場はポリテクセンター京都です
B3052	10/19~21	使用機器	マイコンボード、パソコン、エディタ、Cコンパイラ、デバugg
		持参品	筆記用具
		受講料	16,000 円 定員 10 名
		備考	B303 組込みのためのプログラミング開発技術（C言語関数編）、B304 同（C言語ポインタ編）を受講された方、又はC言語に関して同等の経験をお持ちの方

B306 組込みシステムにおけるプログラム開発技術		2 日間	
コース番号	実施日	コース内容	
B3061	8/25,26	訓練内容	C言語を使用してパソコン上でプログラムを作成する場合、main関数が呼ばれるまでの手続きは気にしなくてもかまいません。しかし、組込みソフトウェアを開発する場合には、main関数を呼び出す部分にも注意を払う必要があります。 本講座では、C言語とアセンブリ言語を用いて割り込み処理やスタートアップ処理を記述し、組込み用ソフトウェアを開発する技法を習得します。
		使用機器	組込み用ターゲットマイコンボード、開発用ホストコンピュータ（パソコン）、開発ツール
		持参品	筆記用具
		受講料	6,500 円 定員 10 名
		備考	

B307	μ I T R O N による組込み制御実践技術			3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B3071	10/26~28	訓 練 内 容	組込みシステムの改善や業務の効率化をめざして、組込みシステム用リアルタイムOSとしてμ I T R O N を採用したシステム機器に必要な設計・開発技術を習得します。	
		使 用 機 器	組込み用ターゲットマイコンボード、ホスト PC、開発ツール	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	16,000 円	定 員 10 名
		備 考		

会場はポリテクセンター京都です

B308	有接点シーケンス制御による電動機制御の実務			3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B3081	5/10~12	訓 練 内 容	電動機と有接点リレーシーケンス制御による運転回路の設計、制御盤組立などの作業の効率化・改善をめざして、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。 1. 電動機の概要、2. 連続運転回路 3. 正逆運転回路、4. 時限運転回路	
		使 用 機 器	電磁接触器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、三相誘導モータ、テスタ、工具、その他	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	11,000 円	定 員 10 名
		備 考		

B309	数値処理による P L C 制御技術			3 日間
コース番号	実 施 日	コ ー ス 内 容		
B3091	6/7~9	訓 練 内 容	自動化生産システムの設計・保守の最適化をめざして、P L C の数値演算処理に関する手法とシーケンス制御に関する応用力を習得します。 1. P L C の概要、2. 数値処理命令、3. 数値データの入出力法	
		使 用 機 器	GX Developer8、パソコン、PLC（三菱製 Q シリーズ）、スイッチ、表示灯、デジタルスイッチ、7 セグ LED、工具、その他	
		持 参 品	筆記用具	
		受 講 料	10,000 円	定 員 10 名
		備 考		

B310	タッチパネルを活用したF Aライン管理			3日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3101	7/5~7	訓練内容	自動化システムの設計・保守業務における効率化・最適化をめざして、タッチパネルとP L Cを活用した自動化システムの設計に必要な技術を習得します。 1. タッチパネルの概要 2. 画面設計（デバイス設定） 3. PLC プログラムの作成	
		使用機器	タッチパネル（三菱 GOT2000 シリーズ）、GT Works3、パソコン、PLC、その他	
		持参品	筆記用具	
		受講料	7,000 円	定 員 10 名
		備考		

B311	電気系保全実践技術			3日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3111	12/6~8	訓練内容	自動生産設備の診断や予防保全をめざして、制御機器の保全技術、故障箇所の特定からその対処方法を習得します。 1. 電気系保全の概要 2. トラブルとその対策 3. 総合実習	
		使用機器	PLC、パソコン、プログラミングツール、負荷装置、工具、その他	
		持参品	筆記用具	
		受講料	15,100 円	定 員 10 名
		備考		

B312	無線LANを用いたデータ伝送と評価（無線LAN構築・評価技術）			2日間
コース番号	実施日	コース内容		
B3121	6/18,19	訓練内容	公衆回線や家庭内でのモバイル端末の使用が増えています。本講座では無線LANネットワークを構築するために必要な知識を、測定器を使用し障害波形を確認しながら実習を通じて習得します。 1. 無線LANの種類 (IEEE802.11a/b/g/n) 2. 無線LANサイトサーベイによる測定 3. 伝送実習（実行スループット測定） 4. 近接チャネル干渉におけるスループット測定 5. フィルタリング、暗号方式 (WEP、TKIP、AES) 6. 障害電波発生におけるスループット測定	
		使用機器	無線LAN アクセスポイント、ノート PC、LAN アナライザ	
		持参品	筆記用具	
		受講料	12,000 円	定 員 10 名
		備考		

B313	LAN構築施工・評価技術				2日間
コース番号	実施日	コース内容			
B3131	7/23,24	訓練内容	ネットワークの基本概念からネットワークの種類、LANの構成技術やネットワーク接続機器について学び、ツイストペアケーブル施工不良の事例や高品質での効率的な作成方法、測定方法を習得します。 1.LANの構成要素 2.OSI参照モデル・プロトコル 3.IPアドレスとDNS・DHCP 4.Cat5E、Cat6モジュラプラグの作成・評価 5.試験項目の種類について(NEXT、FEXT、ACT他) 6.パッチパネルの設置・施工		
		使用機器	LAN工事用具一式、ケーブルテスタ(FLUKE製)、19インチラック、RJ-45コネクタ、圧着工具、情報コンセント、HUB、ノートPC		
		持参品	筆記用具		
		受講料	7,500円	定員	10名
		備考			

ポリテクカレッジ京都からのお知らせ

企業・事業主団体等の皆さまへのサポート

1 従業員の職業能力・向上についての相談・援助

事業主団体及び事業主の皆様に対して、従業員の職業能力開発のための相談援助を行っています。

- (1) 人材育成に必要な研修計画(カリキュラム作成、教材、講師、会場等)
- (2) 講師の派遣、講師の紹介
- (3) 研修会場の貸与、研修用の施設設備の貸与
- (4) その他研修機関の紹介

2 施設開放

○事業主団体及び事業主の皆様が自ら行う教育訓練、研修の場及び労働者個人の職業能力開発の場として、当校の施設・設備の開放を行っております。

○講習会や研修、会議の場などに最適な実習場や教室、機器が利用できますので、是非ご相談ください。

3 舞鶴市補助金制度のご案内

ポリテクカレッジ京都が行う能力開発セミナーを活用し、技術力の向上に取り組まれる舞鶴市内の中小企業等に対して、対象経費の一部(4分の3)が助成されます。

詳しくは、舞鶴市企業立地・雇用促進課へ。(電話 0773-66-1021)

4 人材の紹介

当校においては、2年の専門課程で「生産技術科」、「電子情報技術科」、「情報通信サービス科」の3科を設置しており、実践技術者(テクニシャンエンジニア)の養成につとめております。

また、求職者を対象とした職業訓練「CAD/CAM機械加工科」では、短期間(6ヵ月)の訓練による人材養成も行っております。

人材採用の予定がございましたら、意欲あふれる当校の学生及び訓練生のご活用をご検討ください。

5 共同・受託研究について

当校が実施する「共同研究」「受託研究」は、民間機関等の皆様と、当校の有する機器や教育訓練ノウハウを用いて、中小企業の製造現場等に密着した「新製品の開発」や「製品・機械・装置の改良」などを共同で研究し、新分野進出や生産効率の向上に活用していただくためのしくみです。

【平成27年度共同・受託研究】

- ・紋織物製造データ(CGS2)ユーティリティの開発(京丹後市A社)
- ・舞鶴市ものづくり「たから者」育成資金管理システムの開発(舞鶴市)
- ・舞鶴市イルミネーション設置事業(西舞鶴駅周辺)に関する研究(舞鶴市)

京都以外の施設に申し込みいただくコース一覧

※一覧にないコースについては、各施設にお問い合わせください。

関西職業能力開発促進センター ポリテクセンター関西

TEL 06-6383-0064 FAX 06-6383-0961

<http://www3.jeed.or.jp/osaka/poly/zaishoku/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	5/17,18,19,20
			7/26,27,28,29
			9/13,14,15,16
			11/29,30,12/1,2
			1/24,25,26,27
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	4日間	17,000円	6/7,8,9
			8/2,3,4
			2/14,15,16
設計ツールを活用した製品設計技術 (意匠サーフェス編)【SolidWorks】	2日間	13,000円	6/29,30
			2/22,23
機械加工を考慮した設計技術(設計 基準と加工基準)	3日間	30,000円	9/6,7,8
			2/14,15,16
空気圧機器の選定技術	2日間	9,500円	6/16,17
			10/27,28

加古川職業能力開発促進センター ポリテクセンター加古川

TEL 079-434-2014 FAX 079-431-2740

<http://www3.jeed.or.jp/hyogo/poly/kakogawa/contents/holding/index.htm>

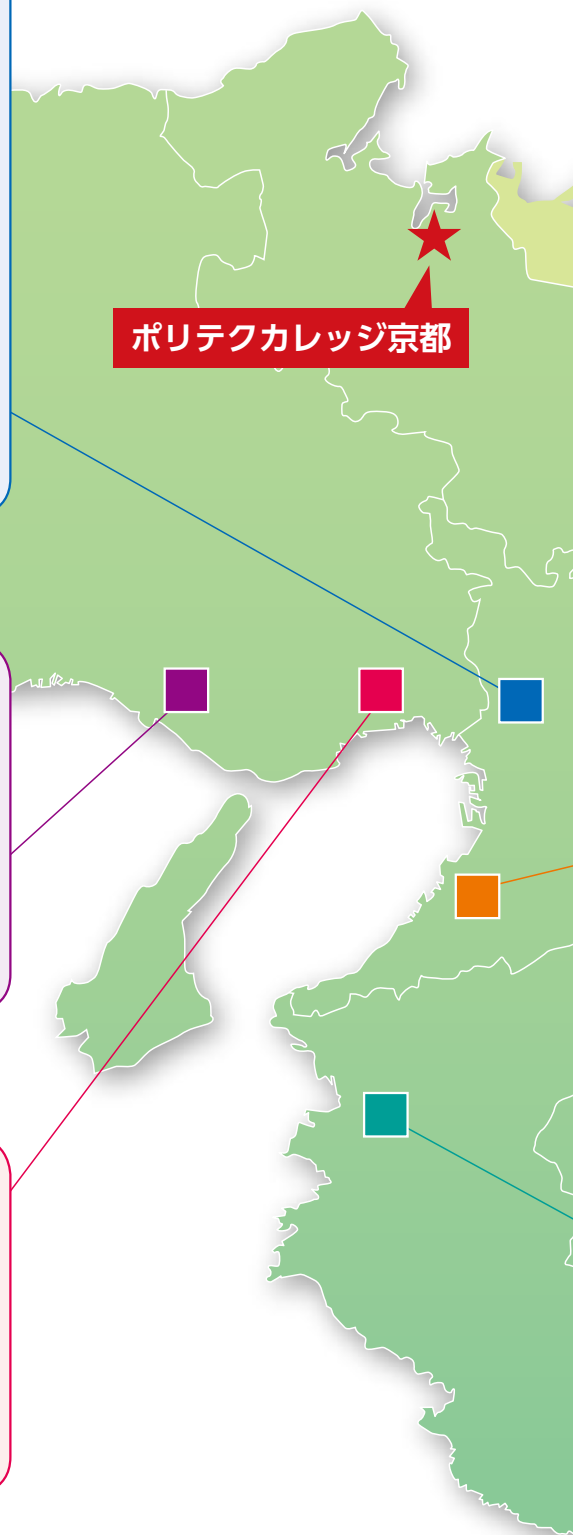
コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	7/19,20,21,22
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	10/17,18,19

兵庫職業能力開発促進センター ポリテクセンター兵庫

TEL 06-6431-7277 FAX 06-6431-7285

<http://www3.jeed.or.jp/hyogo/poly/contents/holding/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	7/26,27,28,29
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	12/13,14,15



滋賀職業能力開発短期大学校 **ポリテクカレッジ滋賀**

TEL 0748-31-2252 FAX 0748-31-2255

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/poly/zaishoku/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	7/12,13,14,15
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	10/31,11/1,2
実践機械設計製図 (幾何公差の解釈 と活用技術)	2日間	21,500円	10/5,6
設計者のための機械構造解析技術 【SolidWorks Simulation】	3日間	22,000円	3/8,9,10

滋賀職業能力開発促進センター **ポリテクセンター滋賀**

TEL 077-537-1191 FAX 077-537-1299

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/poly/zaishoku/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	6/7,8,9,10
			9/6,7,8,9
			3/7,8,9,10
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	6/22,23,24
			9/14,15,16
			3/15,16,17

近畿職業能力開発大学校

TEL 072-489-2114 FAX 072-479-1751

<http://www3.jeed.or.jp/osaka/college/company/seminar/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	6/7,8,9,10

奈良職業能力開発促進センター **ポリテクセンター奈良**

TEL 0744-22-5226 FAX 0744-22-6744

<http://www3.jeed.or.jp/nara/poly/zaishoku/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	5/14,15,21,22
			10/1,2,8,9
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	11/5,12,19

和歌山職業能力開発促進センター **ポリテクセンター和歌山**

TEL 073-461-1532 FAX 073-461-2241

<http://www3.jeed.or.jp/wakayama/poly/zaishoku/index.html>

コース名	日数	受講料	日程
設計ツールを活用した製品設計技術 (部品設計編)【SolidWorks】	4日間	21,000円	11/8,9,10,11
設計ツールを活用した製品設計技術 (構想・組立設計編)【SolidWorks】	3日間	17,000円	2/8,9,10

よくあるご質問と回答

Q1 受講申込はどのようにしたらよいですか？	A1 「受講申込書」に必要事項を記入の上、FAX でお申込みください。「受講申込書」は巻末のものを使用するか、下記ホームページからダウンロードしてご利用ください。 【ポリテクセンターURL】 http://www3.jeed.or.jp/kyoto/poly/zaishoku/application/seminar_app.html 【ポリテクカレッジURL】 http://www3.jeed.or.jp/kyoto/college/business/index.html
Q2 申し込む場合の条件はありますか？	A2 各コースについての基本的知識を有する方は、お申込み頂けます。ただし、コースによっては具体的な受講条件を設定している場合があります。
Q3 FAX 等で申し込みを行った後は？	A3 FAX 等で「受講申込書」を受理したあと、申し込みコースが定員内の時は「申込受理通知書」を、キャンセル待ちの場合には、「キャンセル待ち通知書」をお送りします。
Q4 受講料の支払い時期は？	A4 コース開始日の概ね 4 週間前に、受講票と受講料の郵便振替用紙をお送りします。受講料は、コース開始日の 14 日前までに、お近くの郵便局にて振込み手続きをしてください。振込手数料はお客様負担になります。
Q5 希望するコースが定員に達している場合にはどのようにしたらよいのですか？	A5 「キャンセル待ち」としてお申込みを受け付けることが可能です。この場合は、「受講申込書」を受理後に「キャンセル待ち通知書」をお送りします。受講が可能となった場合には、電話等でご連絡いたします。
Q6 申し込んだコースが中止になることはありますか？	A6 コース開始日の 4 週間前の時点で受講申込者が定員の 5 割に満たない場合には、そのコースについて、日程変更あるいは中止となる場合があります。予めご了承ください。
Q7 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？	A7 FAX にて変更される前後の受講者氏名をご連絡ください。変更後の受講者名で受講票を発行します。なお、受講票を発行済みの場合には、変更前の受講票をお持ちください。また、実施日ごとの受講者の変更はできませんので、ご了承ください。
Q8 セミナーの会場への案内は？	A8 【ポリテクセンター】 セミナー当日に本館ロビー掲示板で再度ご確認ください。受講者数等の都合により、教室が変更になる場合がございます。 【ポリテクカレッジ】 受講票送付時に校内及び会場の地図を同封していますので、ご確認ください。
Q9 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいのですか？	A9 通常は、服装について、特に決まりはありません。ガイドおよび受講票の持参品に指定がある場合には、ご持参をお願いします。
Q10 作業服が必要なコースですが、着替え等はできますか？	A10 【ポリテクセンター】 作業服が必要なコースについては、ロッカールームをご用意しています。1F 事務室でお問い合わせください。 【ポリテクカレッジ】 ロッカールームはございませんが、お着替えは可能ですので、来校の際にお問い合わせください。
Q11 駐車場はありますか？	A11 駐車場はありますので、車でお越しいただく事も可能です（来所者用駐車場に駐車してください）。ただし、駐車場での事故等については、当方では責任を負いかねますのでご了承ください。
Q12 修了証が必要ですが、欠席をするとどうなりますか？	A12 修了証の発行には 12 時間以上かつ、計画時間数の 80% 以上の出席が必要になります。（12 時間コースの場合は、12 時間の出席が必要になります。）
Q13 食堂はありますか？	A13 【ポリテクセンター】 当センターには食堂はございませんが、本館 1F 事務室の受付で、当日のお弁当販売の予約を AM9:00 まで受け付けております（平日のみ。祝日、土日は利用することはできません）。予約をされた方は、当日のお昼に訓練生ホールでお弁当の購入ができます。また、お弁当を持参された方についても、訓練生ホールで食事をして頂いております。 【ポリテクカレッジ】 平日は食堂がご利用可能です。（祝日、土日は利用することはできません。）
Q14 追加コース等が設定される場合がありますか？	A14 受講を希望される方が多いコースなどについては、追加のコースを設定する場合があります。追加コースについては、ホームページで公開していますのでご確認ください。
Q15 一つのコースに多数の従業員を受講させたいのですが？	A15 受講可能です。また、実施定員の 5 割以上の人数で受講を希望される場合には、当方とお客様の日程を調整し、新たに別日程でコースを設定することが可能です。実施については条件等もありますのでご相談ください。
Q16 宿泊施設はありますか？	A16 宿泊施設はございません。お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。

※コピーしてお使いください。
※他施設実施分の申込方法等については、実施施設にお問い合わせ願います。

受付 NO
(機構使用欄)

平成 28 年度 在職者訓練受講申込書

ポリテクセンター京都 (長岡京市)

FAX 075-951-7393

ポリテクカレッジ京都 (舞鶴市)

FAX 0773-75-4378

※該当する会場にチェック☑をつけて F A X (郵送) してください。(実施会場宛てにお申込みください。)

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件 (ある場合のみ) を確認のうえ、申し込みます。平成 年 月 日

コース番号	コース名	コース開始日	ふりがな 受講者氏名	生年月日 (西暦)	備 考
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
		月 日		年 月 日	
訓練に関連する 経験・技能等 (※ 6) その他通信欄					

- ※ 1 お申込の際は、必ず在職者訓練ガイド (P2) の【お申込み方法と受講のご案内】をお読みください。
※ 2 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
※ 3 コース開始日 14 日前 (土日・祝祭日含む) を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
※ 4 受講者名の変更・受講申込の取り消しは、お早めに文書にてご連絡ください。
※ 5 納入された受講料を他のコースへ振り替える (流用) ことはできません。
※ 6 セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、今回、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲でご記入下さい (例：切削加工作業に約 5 年間従事)。

貴社名			所 属 団体名		
貴社所在地	〒 ー		業 種 (該当に☑印)	☐ 金属製品製造業 ☐ 非金属製品製造業 ☐ 機械器具製造業 ☐ 電気機械器具製造業 ☐ 電子部品・デバイス・電子回路製造業 ☐ その他製造業 () ☐ 情報通信業 ☐ 建設・設備工事業 ☐ 卸売業・小売業 ☐ その他 ()	
企業規模 (該当に☑印)	☐ 1 ~ 29 人 ☐ 30 ~ 99 人 ☐ 100 ~ 299 人 ☐ 300 ~ 499 人 ☐ 500 ~ 999 人 ☐ 1000 人以上				
申込担当者名 (※ 1)	所属部署		T E L		F A X
			メー ル		
受講区分 (該当に☑印)	☐ 会社からの指示による受講 (※ 2) ☐ 個人で自己受講				

- ※ 1 受講可否等の連絡先となりますので、必ずご記入をお願いします。
※ 2 受講区分の「会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方 (事業主、営業所長、工場長等) にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

個人でお申し込みの場合のみ必ず記入してください。

住 所	〒 ー	T E L	
		メー ル	

【個人情報の取扱いについて】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成 15 年法律第 59 号) を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。
ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理 (連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備) 及び業務統計、当機構の能力開発業務に関する案内に利用させていただきます。
受講区分「会社からの指示による受講」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

お問い合わせ先	京都職業能力開発促進センター	人材育成支援係	TEL 075-951-7398	FAX 075-951-7393
	京都職業能力開発短期大学校	援 助 係	TEL 0773-75-4341	FAX 0773-75-4378

お問い合わせ・お申込先・交通機関のご案内

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部

京都職業能力開発促進センター (ポリテクセンター京都)



〒617-0843 京都府長岡京市友岡1丁目2番1号

TEL 075-951-7398
FAX 075-951-7393

メール kyoto-poly03@jeed.or.jp

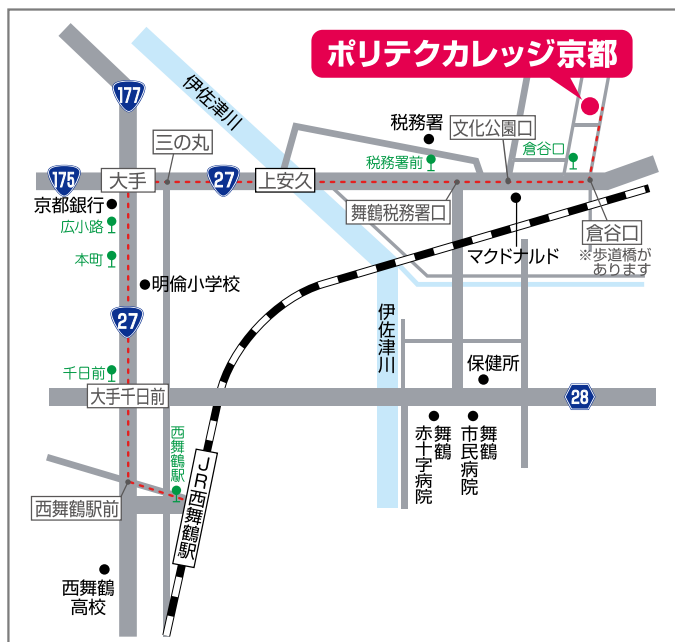
ホームページ <http://www3.jeed.or.jp/kyoto/poly/>

○利用交通機関

- 阪急電鉄「長岡天神」駅東口下車 南へ徒歩8分
- JR「長岡京」駅西口下車 西へ徒歩15分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部

京都職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ京都)



〒624-0912 京都府舞鶴市上安1922

TEL 0773-75-4341
FAX 0773-75-4378

メール gakuen@cs.kyoto-pc.ac.jp

ホームページ <http://www3.jeed.or.jp/kyoto/college/>

○利用交通機関

- JR舞鶴線「西舞鶴駅」駅下車
京都交通バス(中舞鶴経由東舞鶴行)
「倉谷口」停留所下車 北へ徒歩2分